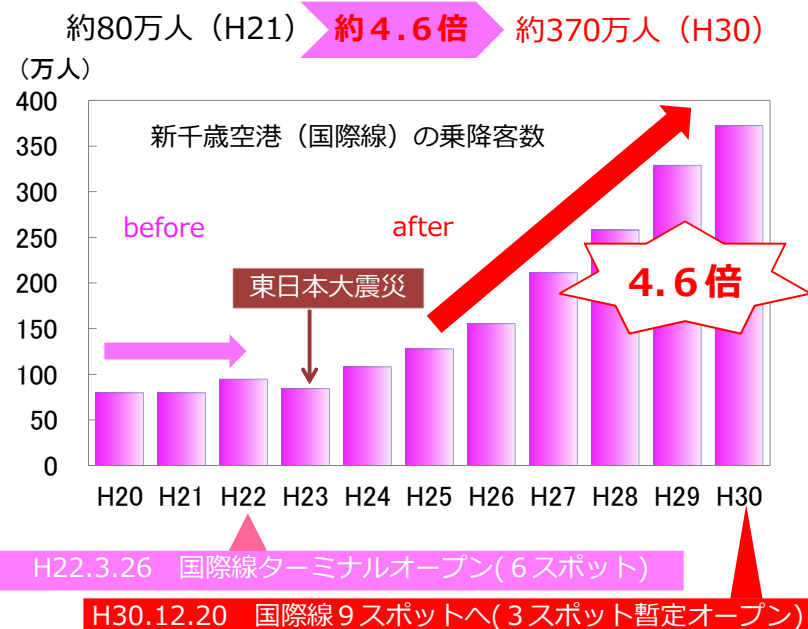


国際線ターミナルビル

北海道とアジア圏を結ぶ 新千歳空港利用の国際線増加

国際線ターミナルの整備で 外国人観光客が急増！

- ✓ アジア圏の観光客を中心に、北海道観光の人气が高まり、国際線ニーズが大幅に増加。
- ✓ 平成22年3月に、新千歳空港に新たな国際線専用ターミナルを整備。
- ✓ 令和元年8月30日、国際線3スポットが本格オープンして計9スポットへ！



利用客で賑わう国際線ターミナル



観光客で賑わう札幌雪まつり



観光客で賑わう小樽運河

津軽ダム

ダムを活かした地域の活性化

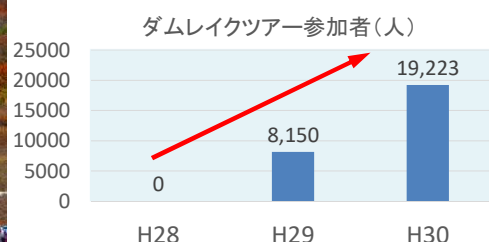
- ✓「津軽ダム」を拠点に、ダム周辺の地域では、ラフティング体験活動、グランピングなど、非日常的な体験が可能なツアーが続々と創出
- ✓洪水時には洪水被害を防止するダム効果を発揮し、地域の安全に寄与するだけでなく、観光で地域の活性化にも貢献



水陸両用バス



津軽ダム天端のにぎわい



グランピング



カヌー体験



ライトアップ



津軽白神湖パーク



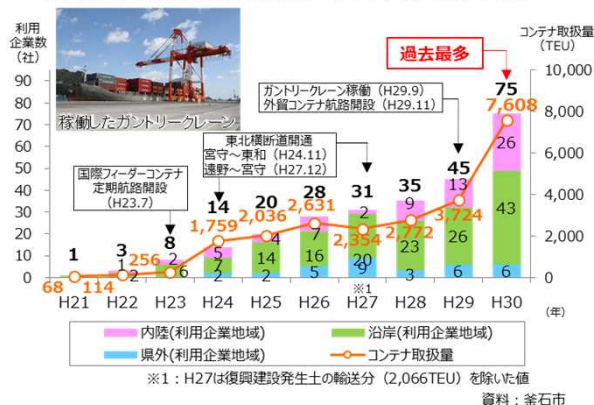
東北横断自動車道 釜石秋田線

高規格道路と国際港との交通ネットワーク連携
～港湾・道路のネットワーク形成による地域経済の活性化～

釜石-花巻間(2019.3全線開通)と釜石港との 連携による地域経済の活性化

- ✓ 東北横断自動車道全線開通により、花巻市から釜石市までの所要時間が約30分短縮
- ✓ 釜石港は、ガントリークレーン稼働(2017.9)、外資コンテナ航路開設(2017.11)などの物流環境を整備
- ✓ 交通ネットワークが機能拡充され、釜石港のコンテナ取扱量と利用企業数は過去最多

▼釜石港コンテナ航路利用企業数・コンテナ貨物取扱量の推移



自動車関連企業(トヨタ自動車東日本等)が集積
(岩手県金ヶ崎町)



キオクシア(株)(旧東芝メモリ)新工場(R1.10完成)
(岩手県北上市)





閑上かわまちづくりで 地域の復興を支援

河川空間と一体となった 「にぎわい」のあるまちづくり

再興まちづくりの新たなスタートラインに

- ✓ 東日本大震災で壊滅的な被害を受けた名取市閑上地区^{なとり ゆりあげ}
- ✓ 今も復興まちづくりの中にある
- ✓ 名取市と連携した「かわまちづくり」を行い、震災から8年以上の時を経て、水辺空間と一体となった「にぎわいの場」を創出
- ✓ 地域と経済の活性化に向かって「拠点」となっていく

かわまちづくり事業（閑上地区）



震災直後の名取川河口部付近（平成23年3月18日撮影）

<名取市閑上地区周辺の主な施設>



現在の名取川河口部付近（令和元年8月31日撮影）



秋田港

クルーズ船を地域でおもてなし ～官民連携による受入環境の強化～

クルーズ船寄港の効果

- ✓ オプショナルツアーの行き先が県内全域に広がり、インバウンド効果が内陸部まで波及するなど、地元観光産業等の振興に大きく寄与
- ✓ クルーズ船寄港は経済効果に加え、乗船客との地域交流や地元伝統芸能、文化などの魅力発信の場も創出

クルーズ船受入環境の強化

- ✓ 平成29年3月、秋田県が中心となり官民協同組織「あきたクルーズ振興協議会」を設立し、国内外でのポートセールスによるクルーズ船誘致やハードソフト両面において受入環境の強化を推進

ハード整備例

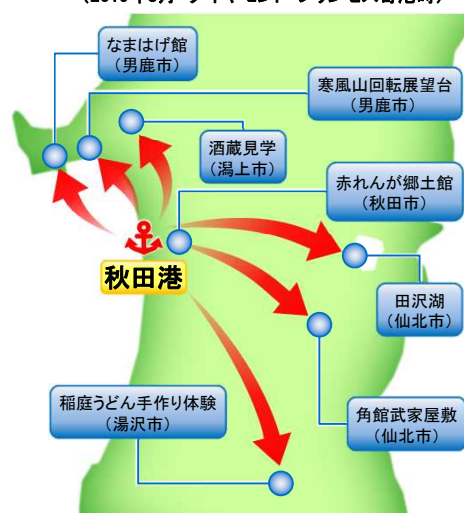


ソフト整備例



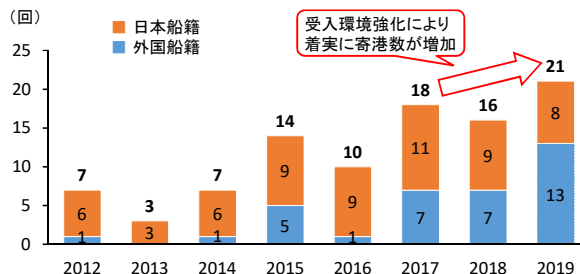
多言語対応アプリ「アキタ/NAVI」

オプショナルツアー先 (2019年8月 ダイヤモンド・プリンセス寄港時)



※PRINCESS CRUISE HPをもとに東北地方整備局作成

秋田港クルーズ船寄港数の推移



山形県



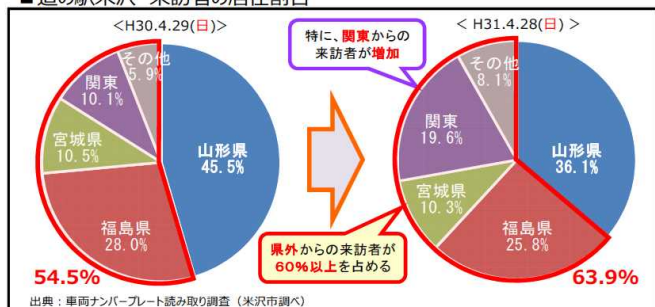
道の駅「米沢」

ゲートウェイ型道の駅 ～地域の周遊観光を促進～

インバウンドに対応した総合観光案内所を開設、
東北中央自動車道と連携し、周遊観光のゲートウェイとして機能

- ✓ 道の駅米沢の来場者数は、平成30年4月開業から1年9ヶ月で来場者340万人を突破
- ✓ 来場者の半数以上が県外を占め、特に、関東からの割合が増加し、ゲートウェイとして機能
- ✓ 各地の観光地や道の駅等の周遊観光が促進

■道の駅米沢 来訪者の居住割合



●まちなびカード
周辺市町村の様々な
施設やお店のお得な
クーポン

平成29年11月 東北中央自動車道
福島大笹生IC～米沢北IC開通

福島県



清流 荒川を活かした 観光商品化

河・道・港のインフラの連携による地域の活性化

河・道・港の連携による観光の周遊化

- ✓ 東北中央自動車道の整備等により、内陸部への魅力的な観光スポットがより身近になっている
- ✓ 河・道・港の連携により、クルーズ船の乗船客が内陸部まで広域的な観光が可能
- ✓ 内陸部から沿岸地域へのアクセスも向上し、福島県沿岸の魅力の再発見が期待

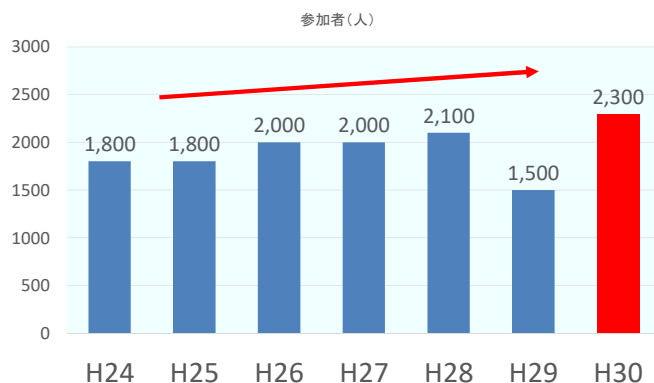


福島市内を貫流する清流 荒川 という 地の利を活かして観光を活性化

- ✓ 荒川の観光資源化に向けた旅行商品「荒川ツーリズム」の検証ツアーが学生と観光関係者で企画・開催

うつくしま・みずウォーク福島大会

- ✓ 自然豊かな荒川とその周辺を舞台に、水辺の自然にふれながら人気のウォーキングを楽しもうという催しで、平成30年は既往最大の参加者約2,300人を記録



茨城県

国営ひたち海浜公園

東関東自動車道水戸線

茨城空港と高速道路が生み出す 新たな観光リング

現在 now



将来 future

■東関東自動車道水戸線
開通区間(茨城空港北IC～鉾田IC)



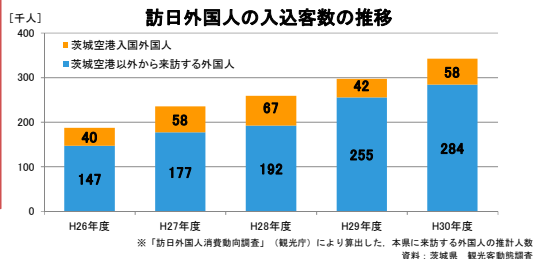
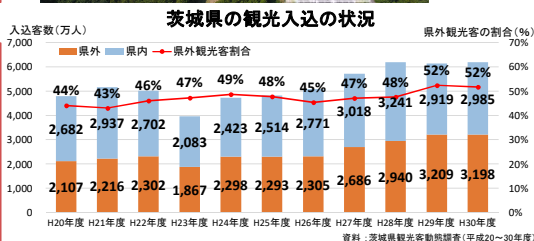
東関東自動車道水戸線
(潮来IC～鉾田IC間)の整備

■空港を核とした高速道路の
観光リングを形成

インフラ



地域



〈バス会社〉

水戸線が開通すれば
潮来方面、さらに千葉
～東京方面への利用
が期待できる。

〈市観光協会〉

外国(中国、台湾)から
のお客様が増加。
開通により各施設での
消費額増加に期待。

●:主な観光地

- ✓ 茨城県を訪れる県外観光客・訪日外国人客数は、増加傾向。旅行者は空港からバスを利用し、県内の観光地に移動
- ✓ 東関東自動車道水戸線の整備により、県内のミッシングリンクが解消され、茨城空港より南部の県内観光地への周遊ルートが形成
- ✓ 移動時間の短縮により、観光客の滞在時間・消費額の増加に期待



渡良瀬遊水地

洪水を貯めて、利根川の堤防決壊を防ぐ

「治水インフラ」、「グリーンインフラ」の両輪で、大きな治水効果を発揮

- ✓ 2017年7月、渡良瀬遊水地は国際的に重要な湿地であることから、ラムサール条約湿地に登録
- ✓ コウノトリをシンボルとした多様な生物の生息可能な自然環境の保全・再生の推進と、賑わいのある地域振興・経済活性化方策を実践
- ✓ 2019年10月台風第19号において、約1億6000万m³の貯留を行い、利根川、渡良瀬川の洪水被害軽減に寄与

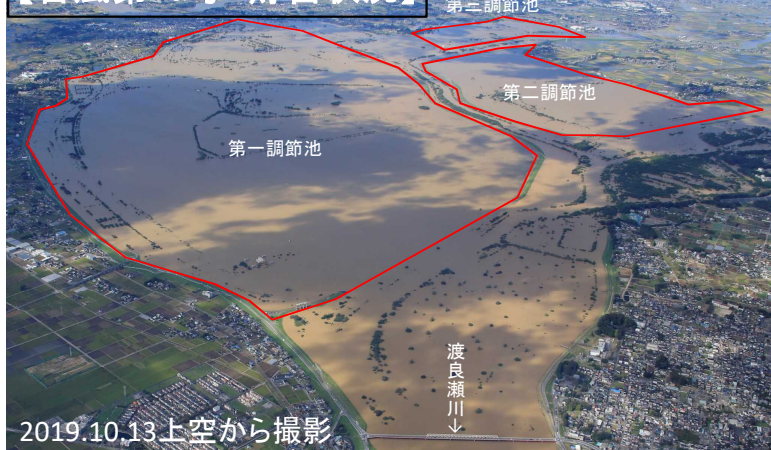


2019年3月

【渡良瀬遊水地ヨシ焼き】

渡良瀬遊水地のヨシ原(本州最大)の8割を焼き、当日来訪者は約9千5百人

【台風第19号 貯留状況】





ハッ場ダム建設事業

ハッ場ダムインフラツーリズムの取り組み

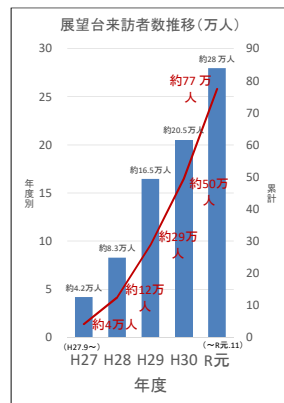
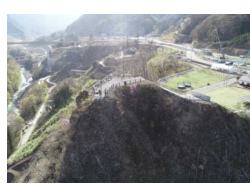
ダムを基軸とした観光地域づくりを推進
官主導から地域主導へ

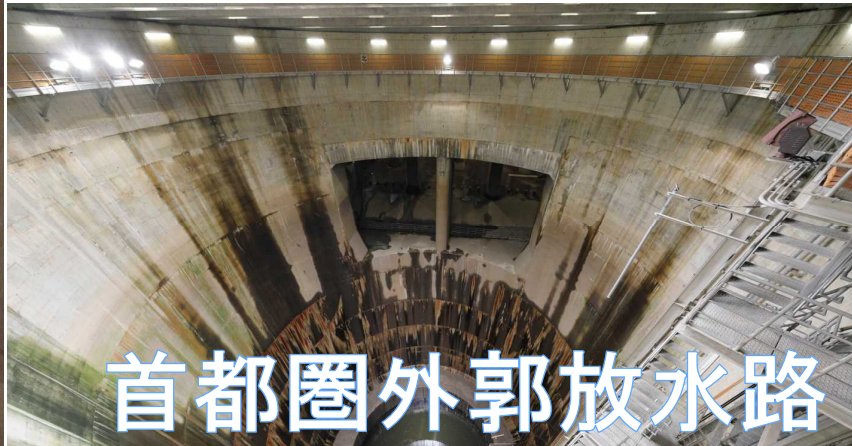
- ✓ ダム建設のあらゆる場面を観光資源と捉え、多くの人にダム現場に来てもらい、ダム完成後の再訪につなげる仕組みづくりを実施
- ✓ ダムの見学会は、取り組み開始前から約20倍の約5.5万人が参加



ダム建設段階の地域振興・広報

※「やんばツアーズ」は、令和元年9月末で終了しました



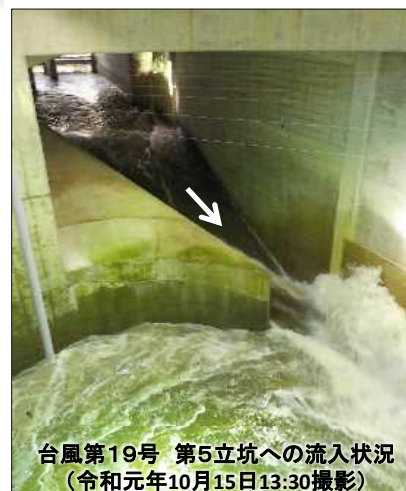


首都圏外郭放水路

部分通水開始から約18年間で、
約1,500億円の浸水被害軽減効果

海外の要人も続々訪問！！！！

- ✓ 令和元年10月 台風第19号では、約250億円の浸水被害軽減効果を発揮。
- ✓ IMF(国際通貨基金)専務理事、ハンガリー大統領などが視察。
映画、TV等のロケも多数行われており、世界からも注目が集まっている。
- ✓ 民間運営見学システムの社会実験(第2弾)を実施中。
- ✓ 平成31年3月23日～令和元年11月末の約8ヶ月で42,317人(月平均5,104人)の見学実績。全3コースの予約率は平均76.4%で、とりわけ「立坑体験コース(55分コース)」は予約率95%と好調。



台風第19号 第5立坑への流入状況
(令和元年10月15日13:30撮影)

	通常 価格	見学者数 (実績)	定員	予約率
立坑体験 コース	¥3,000	4,712人	4,960人	95.00%
ポンプ堪 能コース	¥2,500	1,600人	1,980人	80.81%
地下神殿 コース	¥1,000	36,005人	48,400人	74.39%
計		42,317人	55,340人	76.47%



台風第19号 調圧水槽への流入状況
(令和元年10月14日14:20撮影)

アクセスMAP



春日部駅(東口)、南桜井駅(北口)からは路線バスが運行していますので、ご利用ください。(バス運行会社:平成エンタープライズ(株))

千葉県

埼玉・群馬方面 埼玉・栃木方面 茨城方面

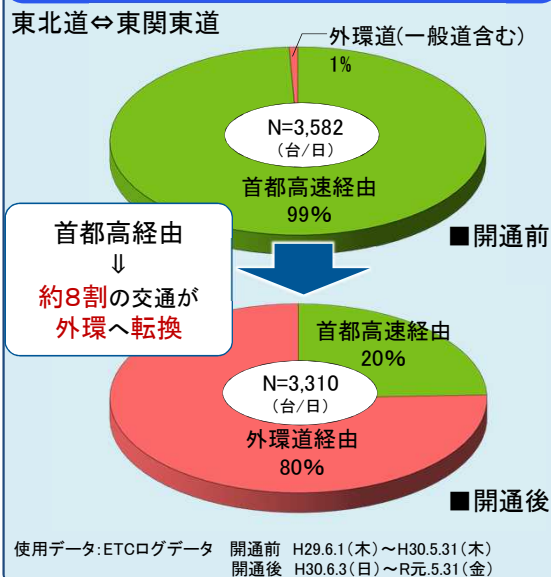
東京外かく環状道路(千葉県区間)

外環道で都心の移動をスムーズに！
首都圏の経済活動をバックアップ！

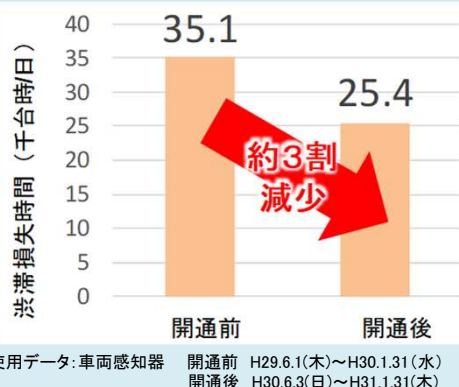
開通前後の経路と渋滞状況の変化



① <<東北道⇄東関東道>> 経路分担率の変化



② 中央環状線の渋滞状況の変化



- ① 埼玉・千葉間(東北道⇄東関東道)の交通は、都心(首都高)を経由していたが、約8割の交通が外環道へ転換。
- ② 外環道千葉区間の開通や堀切JCT～小菅JCT及び板橋JCT～熊野町JCTの4車線化により、中央環状内側の首都高(中央環状含む)の渋滞損失時間が約3割減少。

首都圏

首都圏中央連絡自動車道

効率的な物流ネットワークの形成により 圏央道沿線に進む物流施設の立地

圏央道による効率的な物流ネットワークの強化

■首都圏環状道路による効果



■工業地の地価上昇率ランキング(全国)

順位	基準地の所在地	変動率		順位	基準地の所在地	変動率	
		当年価格 前年価格 (千円/㎡)	変動率 前年変動率 (%)			当年価格 前年価格 (千円/㎡)	変動率 前年変動率 (%)
1	茨城県猿島郡五霞町大字江川	33.0	17.9	6	京都府城陽市平川広田	66.0	10.0
2	千葉県野田市はやま	24.7	12.3	7	埼玉県入間市大字狭山ヶ原	71.0	9.6
		22.0	-	8	埼玉県東松山市大字新郷	64.8	1.3
3	宮城県仙台市宮城野区扇町3丁目	48.0	11.6	9	埼玉県東松山市大字新郷	39.1	8.6
		43.0	13.2	10	東京都青梅市今井三丁目	36.0	1.4
4	沖縄県豊見城市宇豊崎	38.5	11.0			79.0	8.5
		34.7	10.2			72.8	0.6
5	京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山	20.5	10.8			25.5	8.5
		18.5	5.7			23.5	6.8

変動率：平成29年7月都道府県地価調査、平成28年7月都道府県地価調査を比較した工業地の地価上昇率
前年変動率：平成28年7月都道府県地価調査、平成27年7月都道府県地価調査を比較した工業地の地価上昇率
出典：都道府県地価調査(国土交通省)

■大型マルチテナント型物流施設

大型マルチテナント型物流施設とは、多くの個人宅へ多様な商品を迅速に発送するため、効率的に仕分け・配送が可能な機能を集約した、多様なテナントが入居可能な施設

分割可能な貸床

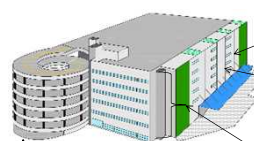
Eコマース関連企業等の多様なテナントが入居可能

福利厚生施設の充実

商品仕分け作業等に従事する従業員向けの売店や託児所等が設置

多層階構造

広い面積を確保し、保管に加え施設内での流通加工が可能



らせん状のランプウェイ
効率化のため、大型トラックが各階に直接乗り入れ可能

※Eコマース：インターネット技術を用いた商取引

- ✓ 横浜、八王子、川越、つくば、成田、木更津等の都心から40～60kmの郊外部に圏央道を整備中
- ✓ 圏央道が順次開通し、高速道路が連結されることで、効率的な物流ネットワークが形成され、基準地価格(工業地)の上昇及び大型マルチテナント型物流施設の立地に寄与
- ✓ 残る区間の整備により、更なるストック効果の発現が期待される

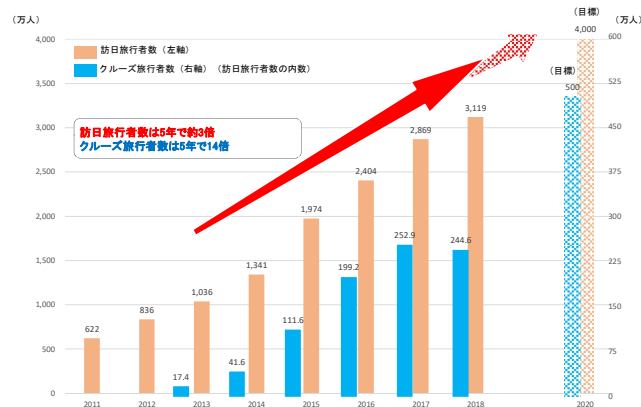
官民連携による 国際クルーズ拠点の形成（横浜港）

クルーズ新時代の実現 ～訪日クルーズ需要の増大に対応～

クルーズ船の受入環境の整備を推進 官民連携による国際クルーズ拠点の形成

- ✓ 近年、訪日外国人旅行者数は大きく増加しており、クルーズ船による訪日客も増加傾向（2018年のクルーズ旅行者数は244.6万人、旅行消費額は1,034億円）
- ✓ 訪日クルーズ旅客の2020年に500万人という目標達成に向け、官民連携によるターミナル整備等を推進
- ✓ 横浜港では、大さん橋だけでは増加するクルーズ船に対応できなくなってきたことから、官民連携による新港ふ頭の再整備や山下ふ頭を活用し対応するほか、横浜ベイブリッジを通過できない大型クルーズ船については、大黒ふ頭の自動車船用岸壁を活用できるよう対応

【訪日外国人旅行者の推移】



【横浜港のクルーズ船受入機能の強化】



新港ふ頭客船ターミナル



大黒ふ頭客船ターミナル



新潟海岸直轄海岸保全施設整備事業

海辺のコンサートや海水浴！

「回復した砂浜」の利活用が地域活性化を推進！

現在 now



将来 future

新潟海岸(金衛町工区)
インフラ

H27.12月

海岸保全施設により砂浜の
回復、背後地の安全度向上

将来(事業完了時のイメージ)

令和10年度完成予定

地域



H29.8月

関屋浜海岸海水浴場(金衛町工区)



H26.7月

関屋浜海の花火大会(金衛町工区)

更なる砂浜の利活用により地域の活
性化が期待

新潟市が「新潟西海岸賑わい創出プラン」に基づき、「日本海一 うれしい海辺」を目指して様々な整備を実施中

新潟市水族館(マリニピア日本海:金衛町工区)は、年間入館者数50万人超を継続して達成中(平成25年リニューアルオープン～平成29年度)

日本海夕日コンサート(有明浜工区)は、新潟県を代表するコンサートで、県内外からの来場者数は、年平均約5万人(S61～H30)

MAP



富山県

保全対象
 ・富山市等
 ・あいの風とやま鉄道
 ・富山地方鉄道
 ・北陸自動車道
 ・国道8号、国道41号
 ・北陸新幹線 他

おやま 雄山(3,003m) 立山カルデラ やくしだけ 薬師岳(2,926m)

常願寺川

(安政5年の土石流氾濫範囲)

北陸自動車道

富山平野

北陸新幹線

あいの風とやま鉄道

富山湾

常願寺川水系 直轄砂防事業

県都富山市の発展を支える砂防事業 ～天涯を守る～

現在 now



将来 future

インフラ

崩壊が続く立山カルデラ



整備を進める砂防堰堤

重要文化財
白岩砂防堰堤



立山カルデラ内の基幹砂防堰堤
堰堤高日本一！

重要文化財
本宮砂防堰堤



常願寺川中流部に位置する基幹砂防堰堤
貯砂量日本一！

重要文化財
泥谷砂防堰堤群

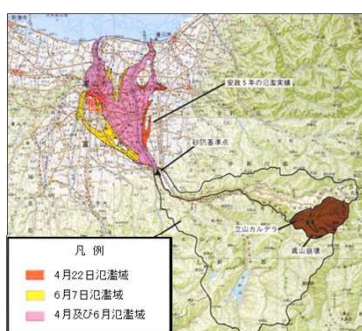


荒廃した常願寺川上流部に設置された階段式砂防堰堤
樹木が生い茂る緑化に成功！

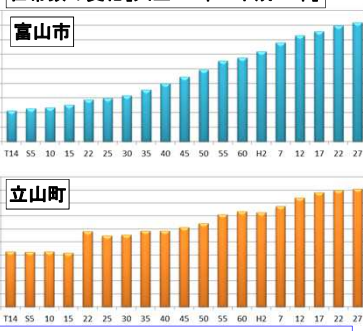
整備効果

歴史

安政5年(1858年)災害の状況(推定)

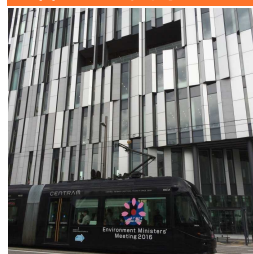


世帯数の変化[大正14年～平成27年]



常願寺川下流域の世帯数は増加傾向

沿川の市街地における再開発でさらなる発展



次世代型交通システム LRT 市街地中心部における商業施設の近代化



地域の発展

- ✓ 常願寺川上流域は、脆い火山噴出物と、約150年前に地震で崩れた鷲山の崩壊土砂が、不安定な状態で堆積しており、豪雨時は、富山平野に甚大な被害が発生。
- ✓ 砂防事業を中心とした治水事業の実施により、富山平野の治水安全度が向上し、道路、鉄道等の社会基盤整備が進み、富山県の中心地域として発展。
- ✓ 立山カルデラの下流に位置する県都富山市は、平成20年度には、全国で13件の「環境モデル都市」の1都市に選定。平成23年度には、全国で11の「環境未来都市」の1都市に選定。さらに、平成26年12月には、アメリカのロックフェラー財団が公募する「100のレジリエントシティ」に日本で初めて選定(150年に1度の豪雨により立山カルデラの大量の土砂に襲われる災害に備えて、国土交通省や県と連携して対策を進めていることなどが評価された)。



MAP



石川県



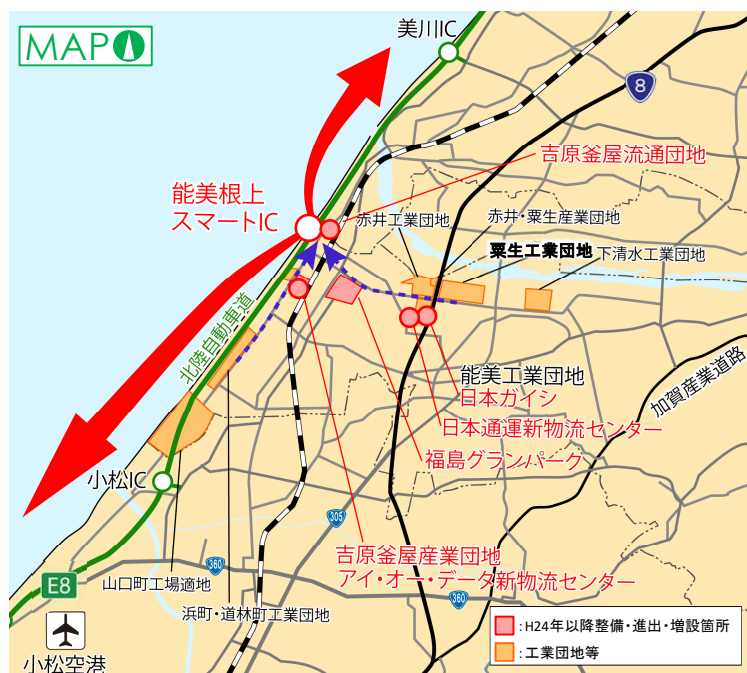
日本ガイシ(株) 排ガス浄化用セラミックス

北陸自動車道 能美根上スマートIC

スマートIC周辺に企業が進出！
～開業1年を迎え新たなステップへ～

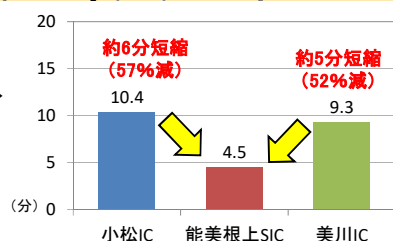
北陸自動車道へのアクセス性向上

- ✓ 能美根上スマートICの整備により、
北陸自動車道への**アクセス時間が短縮**！



北陸自動車道と工業団地間の
所要時間が短縮
(粟生工業団地周辺で算出)→

出典: 第6回能美根上スマートIC
地区協議会資料



能美市への立地企業数の増加

- ✓ スマートIC設置決定により、周辺の工業
団地への**企業立地が加速**！
- ✓ 全国シェアトップ企業も能美市に進出！



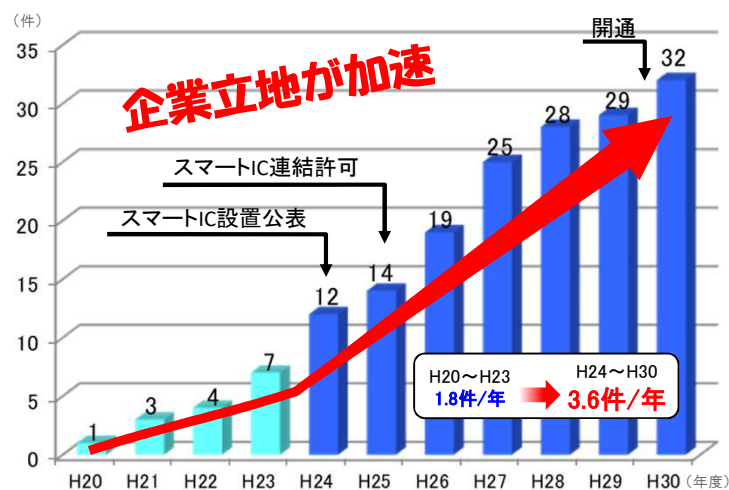
[ゲーミングモニター]



[外付けHDD]

出典: (株)アイ・オー・データ機器HP

【市内における進出企業数の推移(累計)】



出典: 第6回能美根上スマートIC地区協議会資料

福井県

AI技術を活用した 交通障害自動検知システム

雪対策にAI技術を活用 ～立ち往生車両などの事象を早期に発見～

CCTV+AI技術活用による 交通障害自動検知

今回導入したAI技術の概要

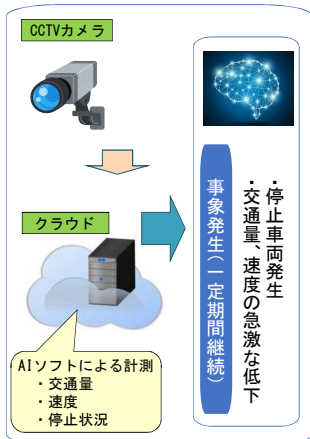
【これまで】



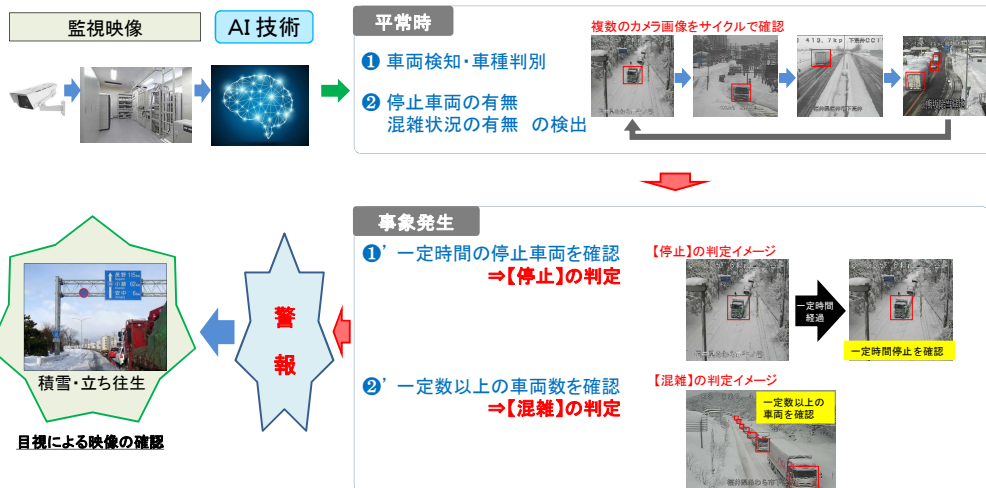
交通障害の確認

現地対応

【今 後】



- ✓ 監視映像を活用して、AI技術により立ち往生車両などの事象発生を検知
- ✓ 監視員に通知することで、発生事象の早期把握、迅速な対策の遂行を支援



山梨県

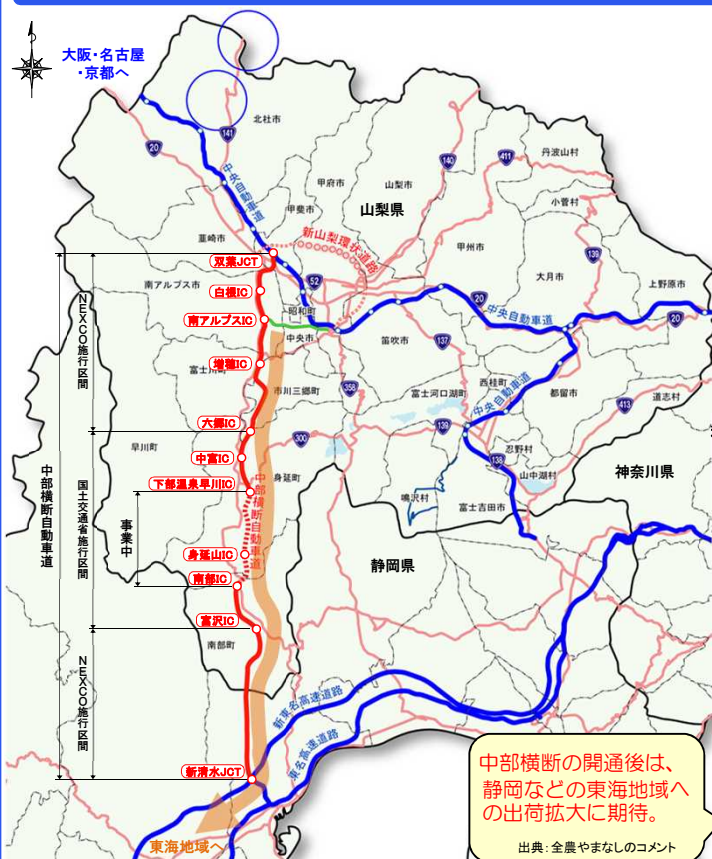


中部横断自動車道

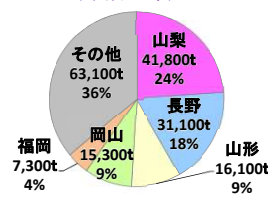
農産物の販路拡大等に寄与する 中部横断自動車道

農産物 ～ 東海地域への販路拡大 ～

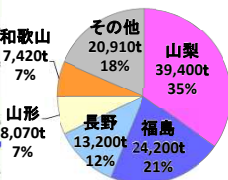
企業立地 ～ 開通区間の雇用拡大 ～



ブドウ生産量 (平成30年)



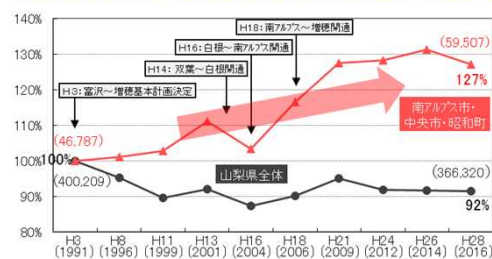
もも生産量 (平成30年)



出典：山梨県「やまなし県のあまし2015」

凡 例	
——	開通区間
——	事業区間
○	調査区間
——	高速道路
——	国道
——	主要地方道

沿線自治体の従業者数の推移 (平成3年を100%)



出典：事業所企業統計調査(～H18)・経済センサス基礎調査・活動調査(H21～)を元に算出
※民営のみを対象に集計
各年調査時点の従業者数

厚木の製造拠点を拡大の検討の結果、中央道を介して連絡が良かったこと、中部横断自動車道の計画があったことなど、総合的に判断して立地を決定。

出典：やまなし産業立地委員会



<部分開通後(南アルファス市白根IC周辺)>

中部横断自動車道の開通をにらんで、沿線市町村では企業立地が進み、平成3年から25年間で、**従業者数が27%(約1.3万人)増加**

山梨県産のぶどう、ももは、生産量全国1位

現在、主要な出荷先は東京であるが、中部横断自動車道開通により、

東海地域への販路拡大に期待

長野県

からまつ
唐松岳 2,696m
かえらずのけん
不帰の嶮

てんぐのかしら
天狗の頭 2,812m

はくばやりがたけ
白馬鍾ヶ岳 2,903m
しゃくしだけ
杓子岳 2,812m

しろうまだけ
白馬岳 2,932m

これんげ
小蓮華山 2,766m

姫川水系 直轄砂防事業



はじめに砂防ありき 安心して大自然を満喫！

現在 now



将来 future

インフラ



元白馬村村長のことは「はじめに砂防ありき」の碑文
(平川、源太郎砂防堰堤直下)

地域



砂防事業が進捗すると、地域住民が安全に暮らせ、人口増加につながります。
また、観光客が安心して訪問することが可能になり、経済効果や文化交流も期待できます。

平川流域砂防事業の進捗

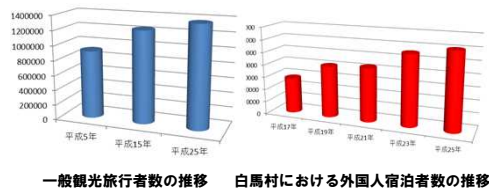
昭和30年代前半
源太郎砂防堰堤完成
土砂氾濫区域の共有地売却

昭和30年代後半
別荘地開発・分譲

土地利用の高度化
S63年までに砂防堰堤16基完成

- 公共施設建設
- 人口の増加
- 長野オリンピック開催
- 観光客の増加

直轄砂防事業は、スキー場を始めとした大自然を
活用する様々な観光資源についての安全性を高め、
国内外を問わず観光客の増加に貢献してきました。



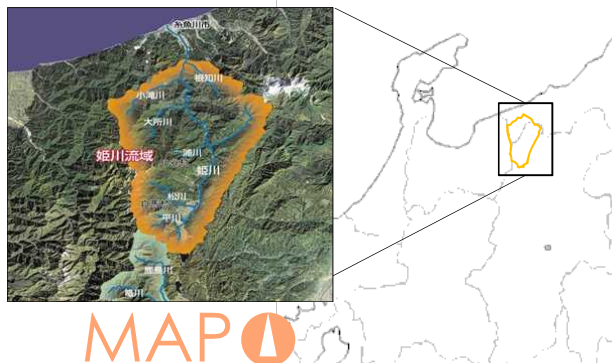
整備効果



自然の満喫

先人が後生に残してくれた
「はじめに砂防ありき」という碑文。

固い石に刻まれた、
この言葉を誇りとし、
砂防という技術をもって、
これからも、地域社会の発展に貢献します。



MAP

岐阜県

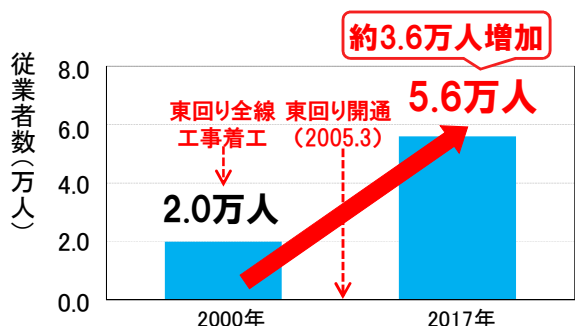
東海環状自動車道

沿線地域の産業振興を支援！ ～自治体の雇用、税収が増加～

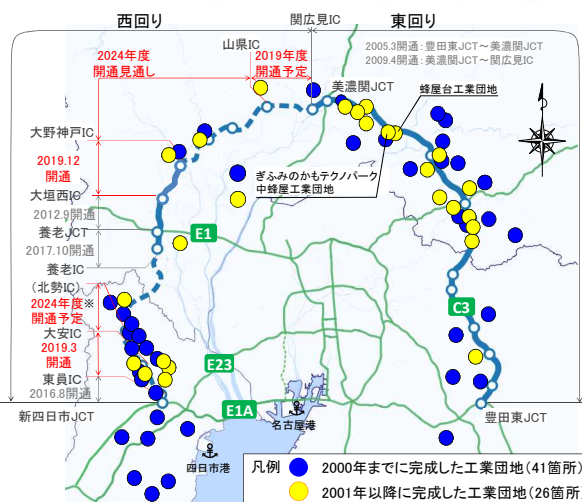
東海環状自動車道（東回り）の開通により 沿線自治体における経済の好循環を実現

- ✓ 東海環状自動車道では、沿線工業団地に約150※企業が進出。
※2000年の東回り全線工事着工から2017年の間の進出企業数。
- ✓ 東海環状自動車道が民間投資を喚起し、沿線工業団地で従業者数が約3.6万人増加。
- ✓ さらに、沿線市町の法人税収は約27億円増加し、全国平均が減少を示す中、増加を堅持。

2000年以降に立地した沿線工業団地の 従業者数の変化

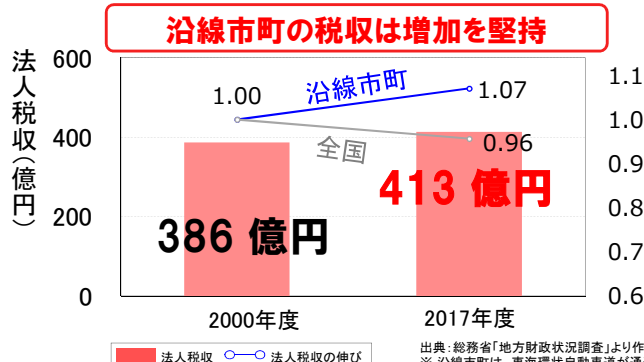


出典：自治体調査結果(2017年1月末時点)



() 書きのIC名称は仮称
※：用地取得等が順調な場合
出典：自治体調査結果(2017年1月末時点)

沿線市町の法人税収の推移



出典：総務省「地方財政状況調査」より作成
※ 沿線市町は、東海環状自動車道が通過する15市8町



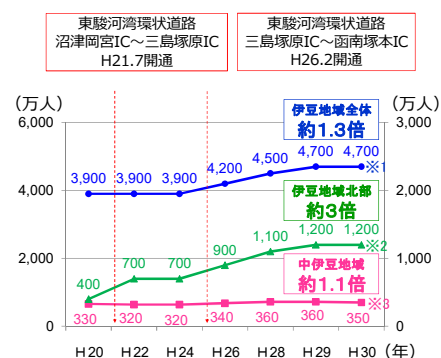
伊豆縦貫自動車道 (東駿河湾環状道路)

伊豆が一つの巨大な観光圏へ ～伊豆地域北部の観光客数が増加～

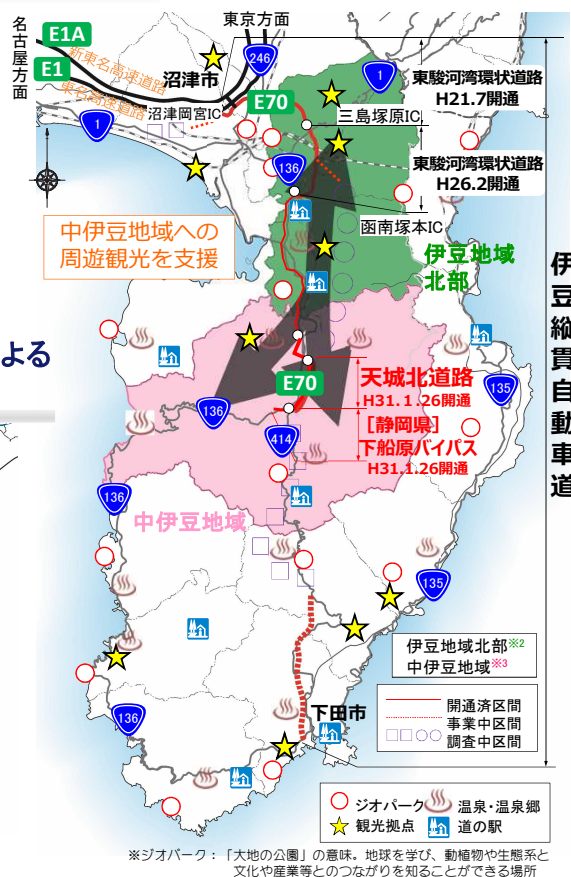
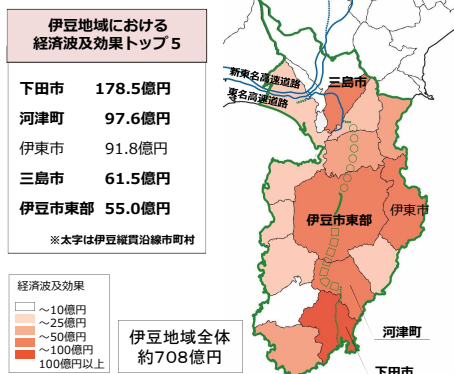
東名、新東名と接続し、広域な道路ネットワークを形成

- ✓ 東駿河湾環状道路が開通した伊豆地域北部※2の観光客数は約3倍に増加
- ✓ 天城北道路の開通により中伊豆地域※3への周遊観光を期待
- ✓ 民間会社試算では、全線開通により年間420万人の観光客が増加、伊豆地域全体で年間約708億円の経済波及効果が発現見込み

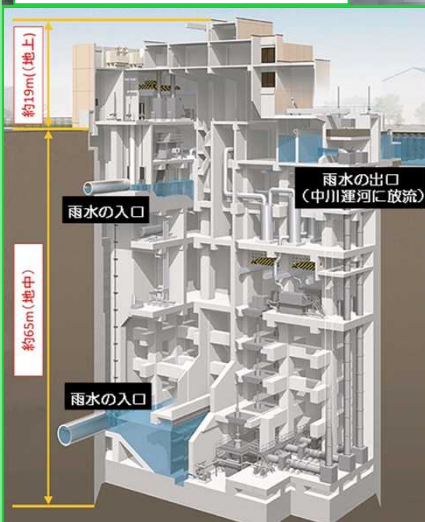
伊豆地域の観光客数が増加



伊豆縦貫自動車道の全線開通による伊豆地域への経済波及効果



愛知県



広川ポンプ所イメージ図



雨水調整池イメージ

広川ポンプ所 名古屋中央雨水調整池

名古屋駅周辺の浸水対策 ～大雨から名古屋のまちを守る～

名古屋駅周辺地域の浸水被害の軽減を図る

- ✓ “雨水ポンプ所・雨水調整池の建設” + “河川事業”
両事業を連携して進めることで以下の成果が得られる

- ① 10年に1度の大雨に対応
1時間63mm※1の降雨に対して浸水被害をほぼ解消

※1 名古屋地区における年超過確率1/10の降雨

- ② 異常気象への対応
1時間約100mm※2の降雨でも床上浸水をほぼ解消

※2 名古屋地方気象台における過去最大(H12東海豪雨の1時間雨量相当)

期待される効果

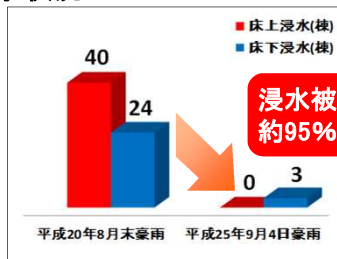
- ✓ 名古屋駅周辺地域においても大幅な浸水被害軽減
効果が期待される

名古屋駅周辺地域における平成20年8月末豪雨時の浸水状況
床上浸水 266棟 床下浸水 2,593棟

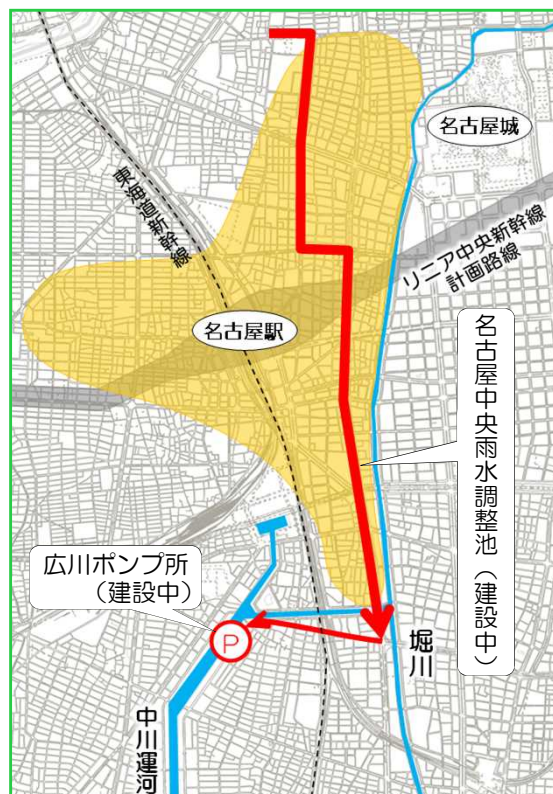
参 考

同様の目標で対策を実施した千種区大和地域※3の事例
浸水状況

※3 平成25年5月に対策完了



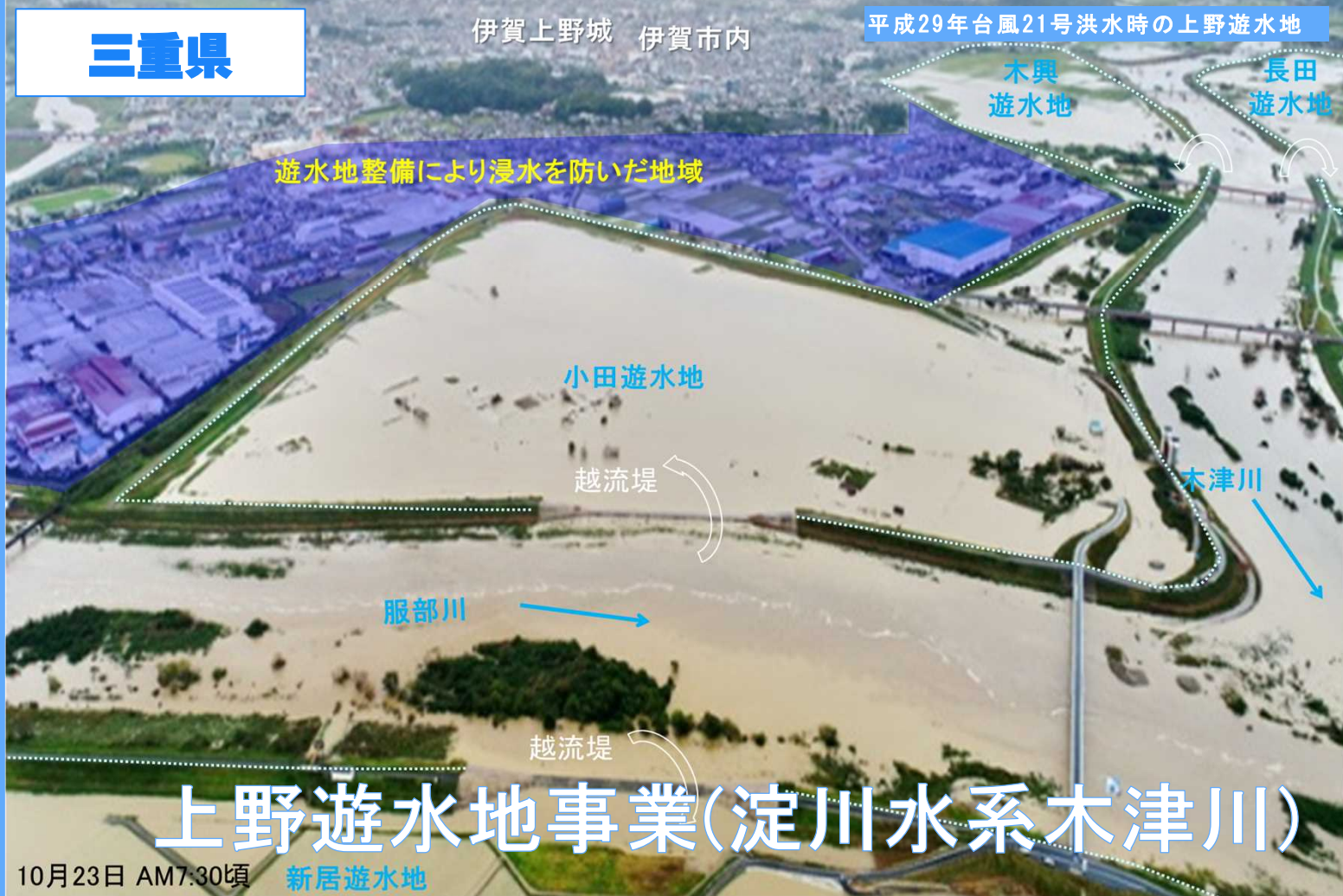
平成20年8月末豪雨を受けて、同様の目標で浸水対策を実施し、平成25年5月に対策が完了した千種区大和地域においては、同年9月の同規模の豪雨において、浸水被害が大幅に軽減される効果が得られた。



- 名古屋中央雨水調整池
貯留量：約104,000 m³
管径：5.75m
延長：約5.0km
- 広川ポンプ所
排水量：約10 m³/秒※

※全排水量約13m³/秒のうち名古屋駅周辺地域からの排水量





上野遊水地事業(淀川水系木津川)

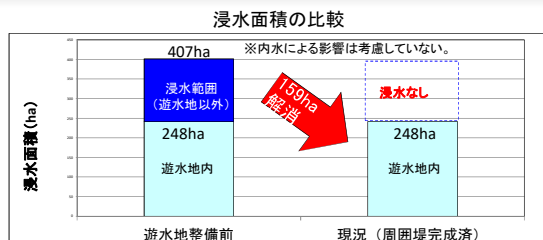
10月23日 AM7:30頃 新居遊水地

忍者のまちの浸水被害を軽減！
～運用開始以降、初の整備効果発揮～

平成27年6月の運用開始後、初めて遊水地の効果を発揮

- ✓ 遊水地整備による浸水被害軽減効果もあり、近年遊水地周辺で世帯数が増加。
- ✓ 平成29年台風21号洪水では、木津川及び服部川の4つの遊水地に越流し、約600万m³を貯留。
- ✓ 遊水地の整備により上野地区において約160haの浸水面積、約760戸の浸水戸数の被害を解消できたと推定。

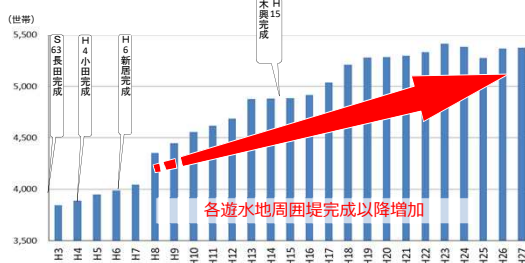
遊水地整備による浸水被害軽減効果



【整備効果】

- ①工場や商業施設が多数進出
- ②遊水地周辺で世帯数が増加
- ③広域幹線道路の交通機能確保

遊水地周辺世帯数の推移



地域高規格道路 琵琶湖西縦貫道路 一般国道161号西大津バイパス

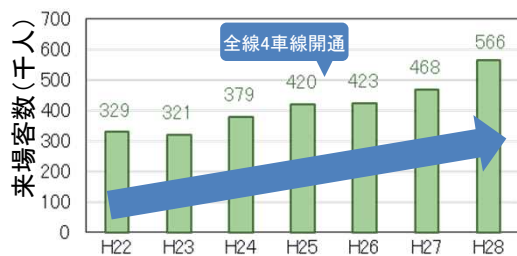
琵琶湖西岸の自然と歴史をつなぐ
～観光・産業・地域活性化を支援～

高速道路ICアクセス圏域が拡大

- ✓ 西大津バイパス未整備時や暫定2車線供用時は、並行する旧国道161号や県道に交通が集中し、混雑誘発や旅行速度低下が発生
- ✓ 西大津バイパスの整備により名神高速道路 京都東ICへのアクセスが向上（整備前 54分 ⇒整備後 23分）
- ✓ 西大津バイパス沿道や周辺には、観光施設が点在しており、西大津バイパスの整備進展に伴い観光客数も増加傾向

琵琶湖西岸の観光客数も増加傾向

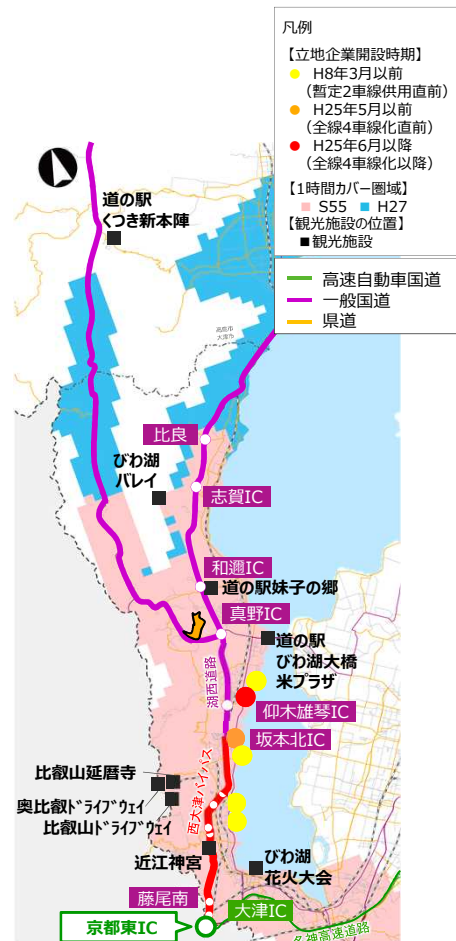
- ✓ 西大津バイパスの整備により、観光促進を支援



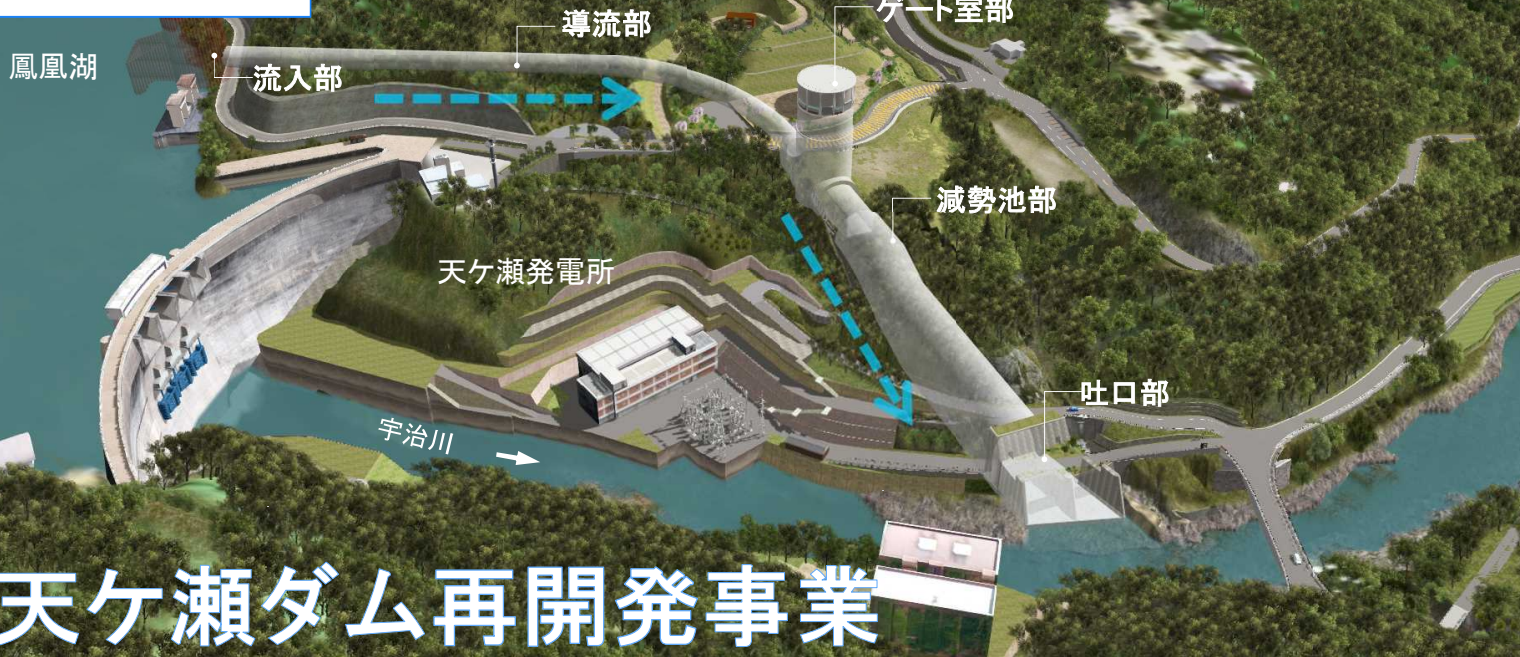
出典) 近江神宮提供資料



近江神宮



京都府



天ヶ瀬ダム再開発事業

ダムが支える観光振興

現在 now

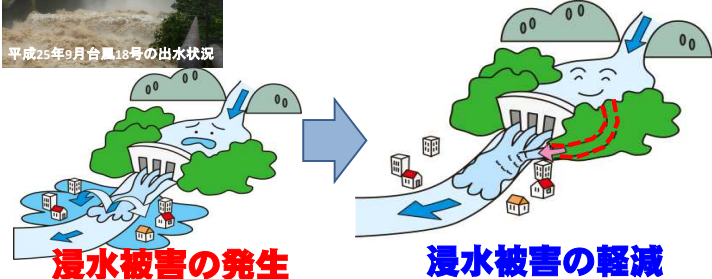
将来 future

インフラ



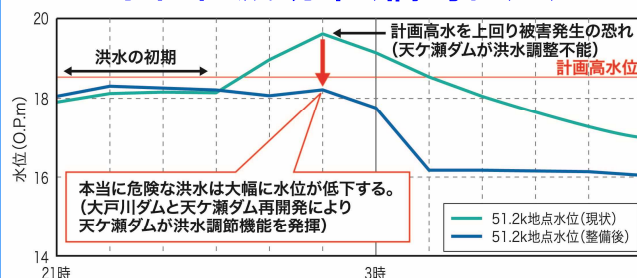
天ヶ瀬ダム
平成25年9月台風18号の出水状況

放流量を増強しダムの治水容量を効率的に活用



効果

水位低減効果(橘島付近)



昭和57年台風10号型洪水1.34倍(宇治1/150)
<宇治川 51.2k地点の水位低下(橘島付近)>

下流河道の流下能力向上とあわせて、天ヶ瀬ダムからの放流量を安全に増加させることで、洪水時の貯水容量を効率的に活用することができるようになり、宇治川や淀川本川への洪水調節機能が強化されます。

地域・観光



世界遺産 平等院鳳凰堂(京都府宇治市)

インフラ整備に伴う新たな観光資源



天ヶ瀬ダム再開発事業の見学ツアー(減勢池部)



夏の風物詩「宇治川の鵜飼」



年間最大観光入込客数559万人

出典: 宇治市観光入込客数

インフラツーリズム



天ヶ瀬ダム再開発事業施工状況の見学会開催



✓ インフラ整備に伴う新たな観光資源を活用したインフラツーリズムにより、観光客が増加している宇治市の観光振興に寄与します。

兵庫県

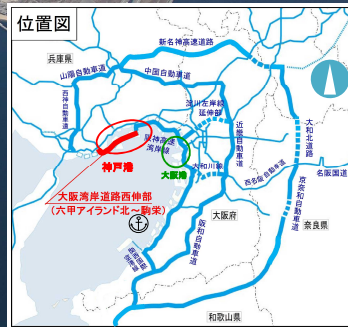
阪神高速3号神戸線
大阪湾岸道路西伸部

神戸港

神戸空港

MAP

大阪湾岸道路西伸部 (六甲アイランド北～駒栄)



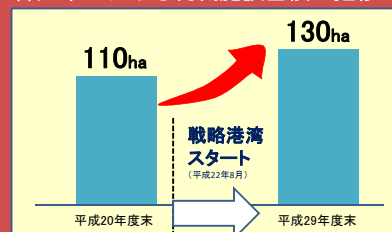
神戸港の港湾機能強化と連携した新たな道路ネットワーク
～物流機能の向上により地域経済が活性化～

神戸港の港湾機能の強化

- ✓ 世界経済のグローバル化の進展による海上貨物輸送の需要拡大により、コンテナ船が大型化。
- ✓ 神戸港では、船舶の大型化に対応した高規格コンテナバース整備を促進。
- ✓ 神戸港周辺の湾岸部への民間投資による物流施設の新設が相次ぐなど、経済活性化への期待が大きい。



神戸市における物流施設面積の推移



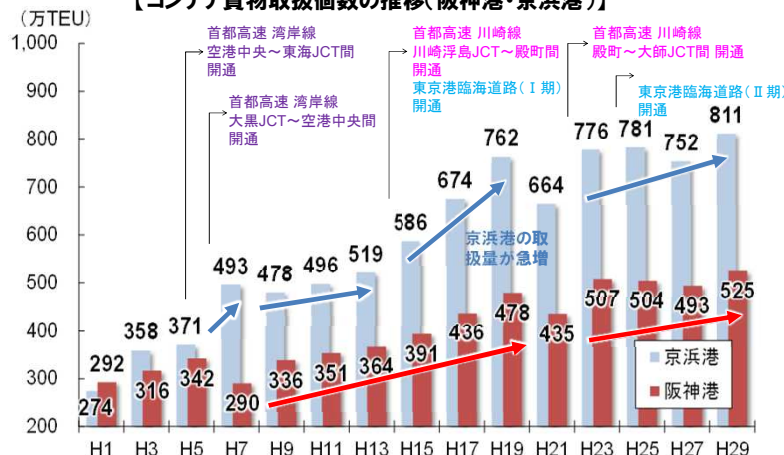
物流施設の進出状況



港間の連携強化による貨物取扱量の増加

- ✓ 京浜港では、港間の連携強化により貨物取扱量が増加。
- ✓ 阪神港においても物流施設やコンテナターミナル等の連携強化により、貨物取扱量の増加、新たな企業進出等による、地域経済の活性化が期待。

【コンテナ貨物取扱個数の推移(阪神港・京浜港)】



【京浜港周辺の道路整備状況】



京浜港では、港間の道路網が整備されている。

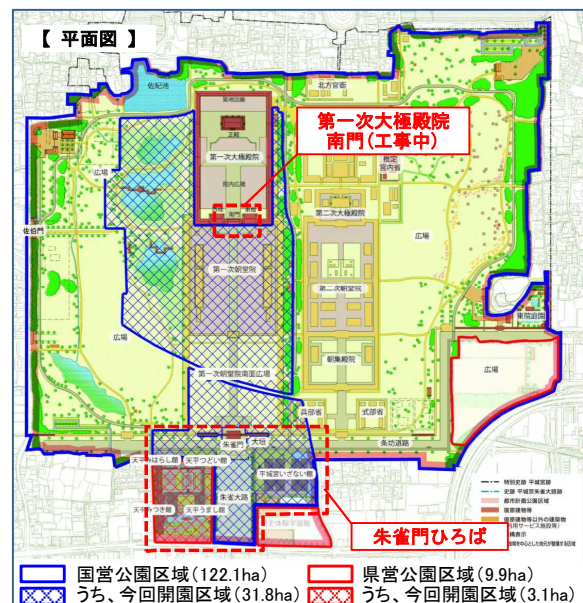
奈良県



平城宮跡歴史公園の整備

第一次大極殿院南門復原整備 木曳祭

～奈良時代を今に感じる～ 「朱雀門ひろば」において往時の都を体感・体験



平城宮いざない館 入館者(開園～令和元年10月末)
(平成30年3月24日開園) 約447,000人

平城宮いざない館開園後の様子



公園案内ゾーン

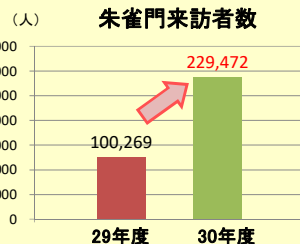
ガイダンスゾーン

詳覧ゾーン

～来園者コメント～

平城宮いざない館では、平城宮跡の歴史を学べ、様々な体験ができて大変良かったなど多数のプラス意見

朱雀門ひろばの開園に伴い、
朱雀門来訪者が2倍以上に増加

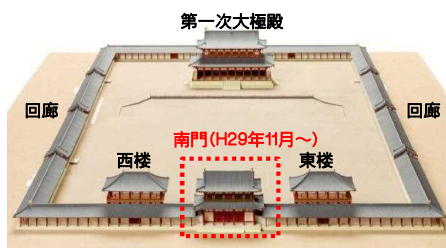


- ✓ 公園全体の利用拠点となる空間として、史跡平城京朱雀大路跡及びその東西の区域の施設整備を行い、平城宮跡の正面玄関及び奈良観光の玄関口として、公園全体の利用、管理・運営の拠点及び歴史・文化交流拠点並びに観光ネットワーク拠点の機能を持ったゾーンとする。

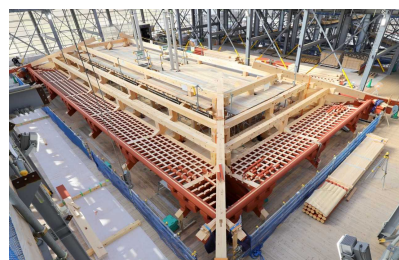


【第一次大極殿院 南門復原整備】

平城宮跡のシンボルである第一次大極殿院の復原整備をすすめる、歴史公園として平城宮跡の更なる保存・活用を図ります。



第一次大極殿院 復原イメージ



南門復原工事の様子(素屋根内)

- ✓ 平城宮跡の魅力や価値をガイダンスし、多様な人々を公園利用につなぐ
- ✓ 公園利用者が安全・安心して来園できることで公園の利用促進に効果が期待
- ✓ 平城宮跡の復原建物や遺構表示など歴史景観を活用した季節ごとのイベントを展開
- ✓ 往時の伝統技術を用いた南門復原整備において「魅せる現場」による現場公開を実施中

和歌山県

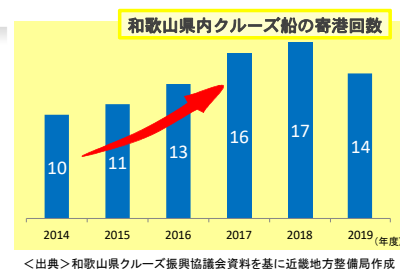


クルーズ船受入環境の改善 (和歌山下津港、日高港、新宮港)

“世界遺産地域 紀伊半島”の海の玄関口！ ～インバウンド誘致を促進～

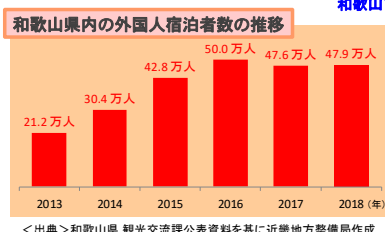
貨物専用岸壁を有効活用したクルーズ船の受入環境整備

- ✓ 和歌山下津港では、既存の貨物専用岸壁を有効活用し、背後の施設をリニューアル。大型クルーズ船の受入拠点化を推進。
- ✓ 日高港では、既存の岸壁延長上に係船ドルフィンを整備。大型クルーズ船の入港が実現。
- ✓ 新宮港では、波を穏やかにする防波堤と未舗装だった荷捌き地を整備。大型クルーズ船の入港が実現。



観光客の誘致への期待

- ✓ 高規格道路の整備も進捗しており、クルーズ船寄港地背後の観光圏域拡大による相乗効果※に期待。
- ※クルーズ船(500人乗り)1寄港あたり域内消費額が約1,000万円増加。



鳥取県



境港への外国からの大型クルーズ客船寄港
※写真: 境港管理組合より

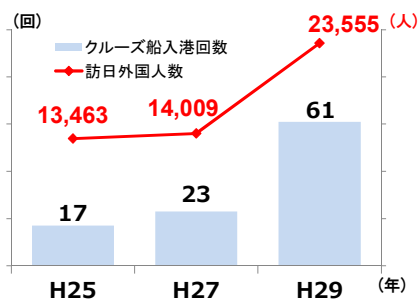
山陰道(鳥取県内区間)

山陰道整備とともにインバウンド周遊が増加

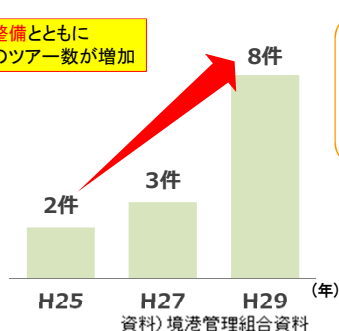
クルーズ客船の周遊観光ツアー



境港のクルーズ客船の入港回数と訪日外国人数



鳥取県中東部へのツアー数



山陰道の整備とともに
中東部へのツアー数が増加

・山陰道の整備により中東部までが圏域として広がったことがツアーの増加につながっている。

(H30.7 (一社) 山陰インバウンド機構ヒアリング)

- ✓ 境港における大型クルーズ客船の寄港受け入れにより、訪日外国人数が増加
- ✓ 山陰道整備によりインバウンド観光周遊エリアが拡大する等、地域の観光を支援



尾原ダム（クレスト点検放流）

尾原ダムは人気者
～人も観光名所も増えました～



さくらおろち湖祭り(湖上火火)



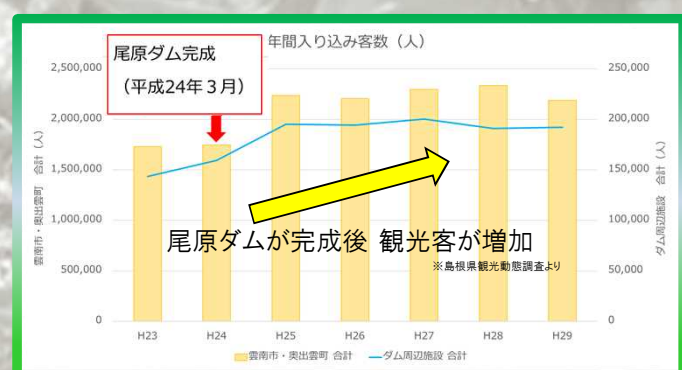
自転車競技大会



トレイルランニング

ダム湖でさくらおろち湖祭り、レガッタ、トライアスロン。周辺道路ではウォーキング、自転車競技大会を開催。

ダム周辺の地形を利用したトレイルランニング、ロゲイニング、クレスト点検放流と多くのイベントを開催。



尾原ダムの完成後、水源地域である雲南市、奥出雲町の観光客が増加。

ダム完成翌年には、ダム直近に温泉入浴施設が新たに開業し、ダム周辺施設※の合計で年間平均約200,000人の利用があります。

※ダム周辺施設：「道の駅おろちの里」、「出雲湯村温泉」、「佐白温泉長者の湯」、「奥出雲多根自然博物館」の4施設。



百間川河口水門（H26年度完成）

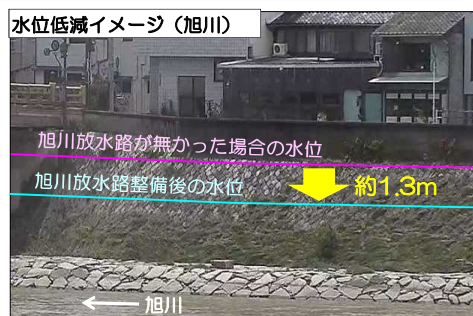
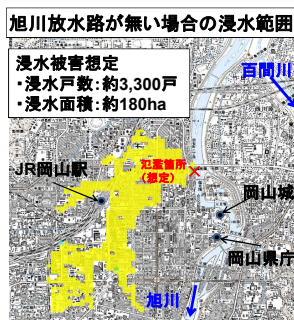


旭川放水路（百間川）

岡山市街地のさらなる安全向上！ さらなる発展！

- ✓ 平成30年7月豪雨では旭川放水路（百間川）への分流により浸水被害を防止
- ✓ 旭川の改修推進と既設ダムの再生により岡山市街地の治水安全度を更に向上
- ✓ 安全・安心が生む人口の増加と地域経済の発展

旭川放水路（百間川）の整備効果



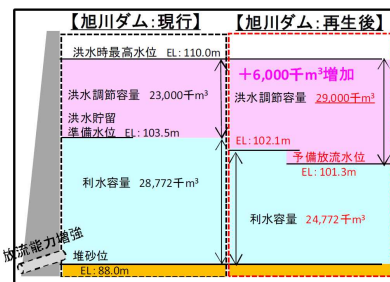
- ✓ 令和元年6月に旭川放水路が完成するなど、岡山市街地の治水安全度は着実に向上。



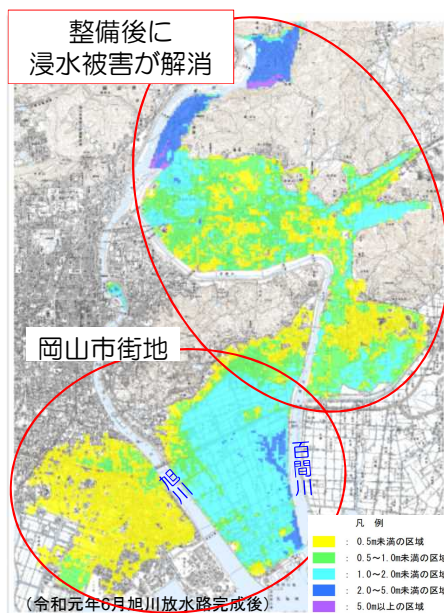
旭川の改修推進と既設ダムの再生

- ✓ 将来の気候変動の影響による降水量に備え、更なる治水安全向上に向け、令和元年6月に河川整備計画を変更。旭川の改修推進と既設ダムの洪水調節機能の向上を図る。

【整備例】旭川ダム再生



※今後の調査・検討により変更となる場合がある。



整備前

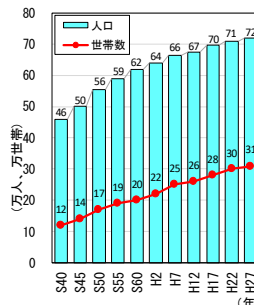
項目	想定被害
浸水世帯	約61,600世帯
浸水面積	約4,400ha
被害額	約9,040億円

整備後

項目	想定被害
浸水世帯	約30世帯
浸水面積	約20ha
被害額	約4億円

河川整備計画目標規模
（年超過確率1/70程度における被害の軽減）

岡山市の人口・世帯数推移



安心・安全が生む
企業の発展・新規誘致により、
地域経済の活性化・
人口増加が促進。

広島県



元安川親水護岸

水の都 ひろしま ～集い安らぐ水辺空間の創出～

- ✓ 世界遺産原爆ドーム前を親水テラス等の整備により、賑わいを創出
- ✓ 河川空間の利用の規制を緩和し、民間開放

整備前



整備後



整備前の状況(昭和63年)



親水テラス等の 整備

- ✓ 世界遺産原爆ドーム前や平和記念公園を流れる元安川において、親水テラス等の整備により、「水の都ひろしま」にふさわしい風景を創出
- ✓ 河川空間の利用の規制を緩和し、民間開放。オープンカフェの常設し、平和記念公園の来訪者に憩いや交流の場を提供。利用者数は12万人に。



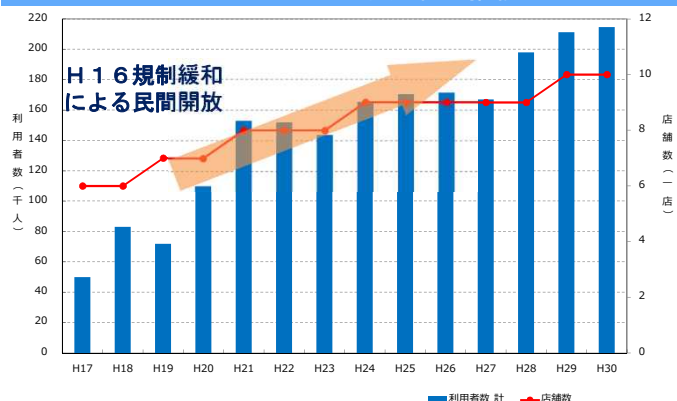
現在の状況(平成30年4月)

元安川親水テラスの活用



水辺のコンサート(平成18年5月)

オープンカフェ利用者の推移



オープンカフェの利用者数が大幅に増加

徳山下松港国際物流ターミナル整備事業

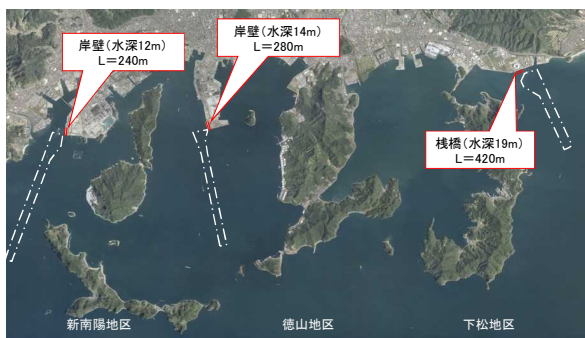
ゲートウェイ機能の強化！
エネルギーの安定的かつ安価な輸入の実現

現在 now



将来 future

インフラ



石炭取り扱い岸壁の延伸および航路・泊地の拡幅

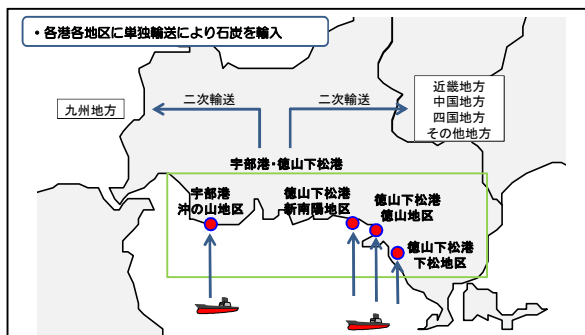


岸壁の延伸により船の大型化に対応



令和5年度 完成予定

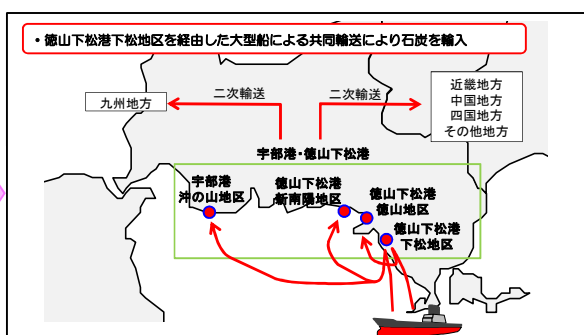
石炭輸送



石炭の輸送コストを年間約24億円削減



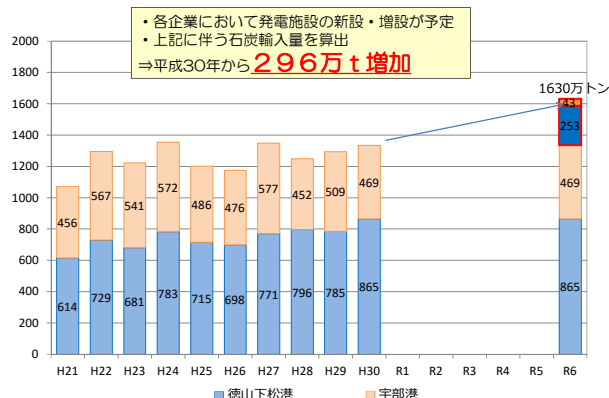
企業間の連携による大型石炭船の活用



効率的な輸送体系

徳山下松港及び宇部港の石炭輸入量

- ✓ 徳山下松港・宇部港周辺には化学メーカーが集積し、化学コンビナートを形成
- ✓ 化学コンビナートでは主に、石炭火力で発電した電力で基礎素材を生産
- ✓ 西日本の石炭輸入拠点である徳山下松港で積み替え西日本全域に配送
- ✓ 岸壁等の施設を整備することで、より大型の船舶での石炭輸入が可能となり、石炭の輸送コストを削減





長安口ダム改造事業

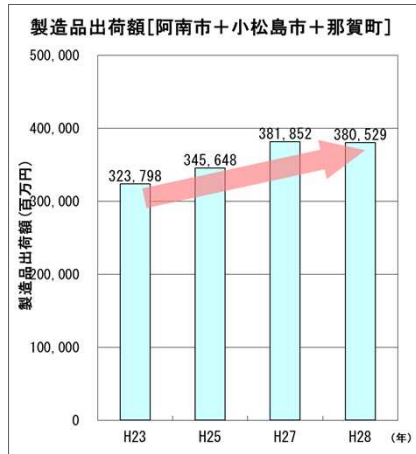
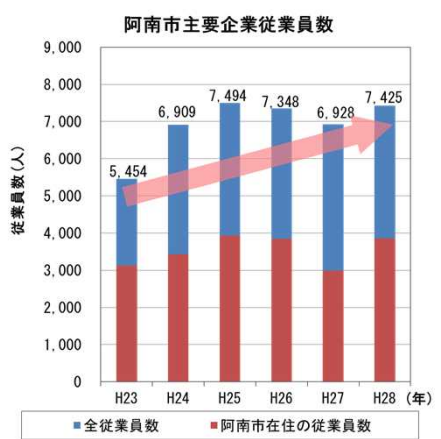
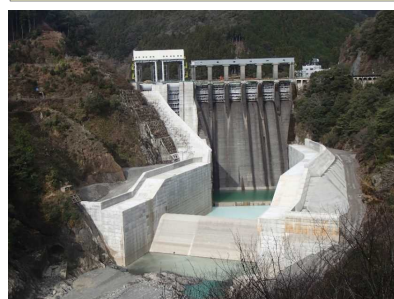
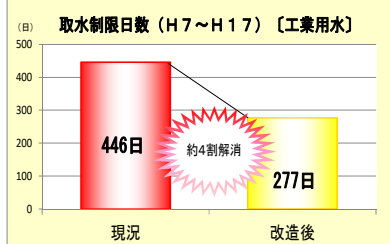
那賀川流域の農業・工業用水等の取水安定化 ～安定水供給でトップクラスのLED生産拠点を支える～

長安口ダム改造及び川口ダム(県)との連携(容量配分の見直し)により、那賀川流域の治水・利水安全度が向上

- ✓那賀川下流域には、化学工業製品の発光ダイオード(青色LED)の生産量が世界シェアトップクラスの企業や、大規模製紙工場等が立地
- ✓工業用水の取水制限による生産規模縮小や操業停止などの渇水被害を軽減し、企業運営の安定化等に寄与
- ✓長安口ダム改造事業等の水害対策を実施することにより、浸水被害が軽減され、地域の安全安心を確保するとともに、地域経済の発展に寄与

主要産業に寄与

取水制限の低減



香川県



高松市のシンボル「屋島」



日本の夕陽百選・四国八十八景



夜景100選・日本百名月



屋島からの眺望(多島海景観)

高松市景観まちづくり刷新事業 景観に特化した公共事業 ～高松が誇る景勝地「屋島」の再生～

地域の景観資源を活かしたまちづくりを実施

- ✓ 景観まちづくり刷新支援事業は、地域の景観資源を活かしたまちづくりを推進するため、景観資源の保全・活用や景観インフラの整備を支援するもの。
- ✓ 全国10箇所のモデル地区の一つとして、高松市が指定された。
- ✓ 高松市では「屋島」の整備を行うことにより、地域の魅力向上、地域活性化を図る。

■ 観光拠点施設の整備等



高松市屋島山上拠点施設(仮称)イメージ
(設計者)SUO + Style A 設計共同企業体

■ 屋島ドライブウェイの無料化(市道化)・景観整備



屋島山上景観刷新のイメージ



事業実施箇所及びモデル地区等

愛媛県



高速道路の延伸に伴いまだいのシェアが拡大 一般道路56号 津島道路



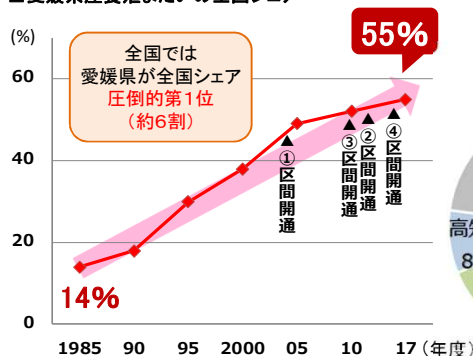
地元のこだわりを全国の食卓へ ～物流の向上が、地場産品の市場競争力向上に寄与～

四国8の字ネットワークの延伸で荷傷みの原因の解消や迅速な輸送による鮮度保持など地場産品の市場競争力向上に寄与

- ✓ 愛媛県の農水産品は、まだい(養殖)やみかんなど、全国シェアの上位を占める
- ✓ 地域では国内最高級のブランド魚『愛鯛』や、宇和島産『鯛一郎くん』 愛南産『ふかうら真鯛』などオリジナル名のついた鯛を販売
- ✓ 津島道路の整備により、通常時の時間短縮・定時性確保だけでなく、越波や災害等で通行止めになった場合の安定出荷を確保

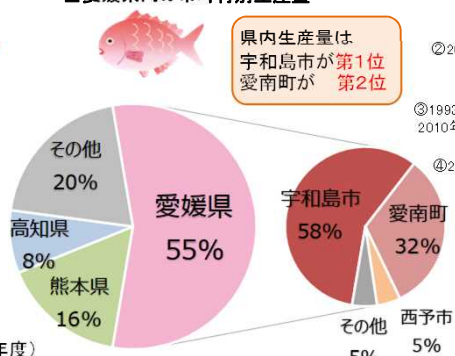
まだい(養殖)の全国・県内シェア

■愛媛県産養殖まだいの全国シェア

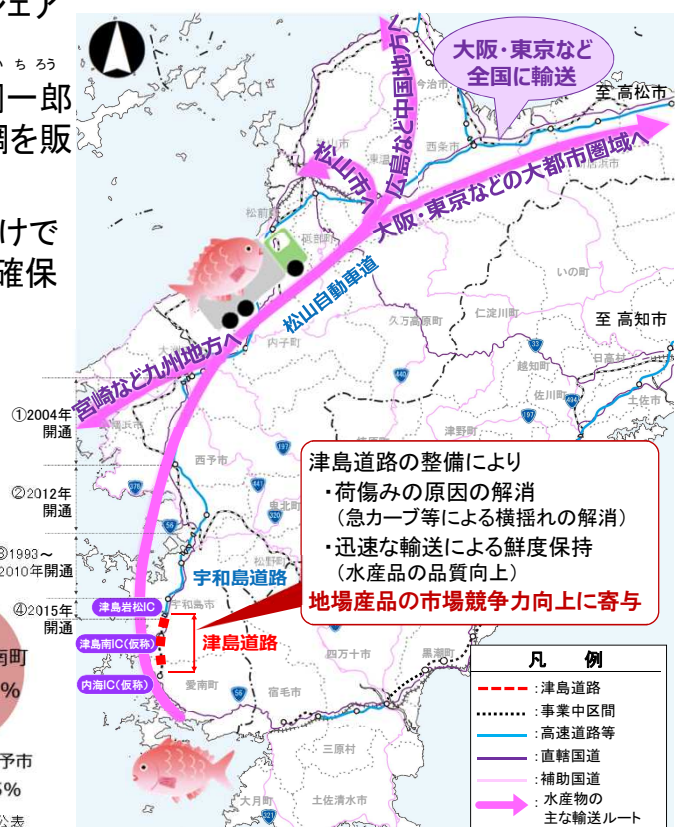


出典：農林水産省「海面漁業生産統計調査」各年度公表

■愛媛県内の市町村別生産量



出典：農林水産省「海面漁業生産統計調査」H30年度公表



高知県

高須浄化センター 汚泥消化施設整備事業

BISTRO下水道

高知の新たな資源を掘り起こせ!!!
～下水汚泥から新エネルギーの創出～

新しい処理方式(消化)により、下水汚泥の減量化による処分コストの縮減と
バイオガスの有効利用(バイオガス発電)

- ✓ 高須浄化センターは、3市(高知市・南国市・香美市)の約20万人の下水を処理
- ✓ 従来、下水処理で発生する汚泥は一部を焼却し、残りは民間に委託処理
- ✓ 今後、増加する下水汚泥について、処分先の確保や増加する維持管理費の削減のため、汚泥の減量化(年間約6,300tの削減)を図れる消化を導入する。
(2020年度供用開始予定)
- ✓ 消化の際に発生するバイオガスは発電に利用され、安定供給できる新たなエネルギーとして有効利用(民間事業者が施設整備)
- ✓ 汚泥由来の肥料活用を拡大し、質の高い農作物・農産品の生産に寄与。地産地消を支援。

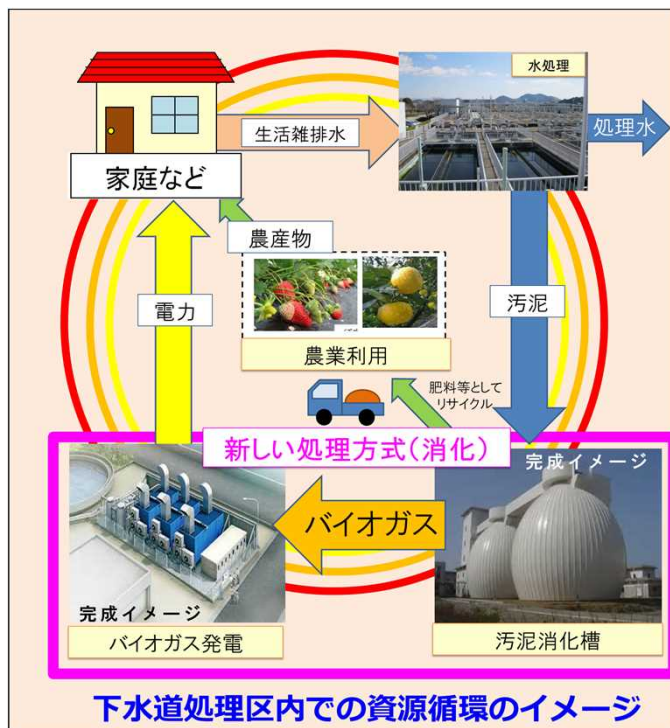
〈農業者の声〉

日持ちが良くなりました。

甘くやさしい味
になりました。



ユズ





博多港アイランドシティ地区

ベジフルスタジアムと港湾・道路の連携 ～九州の農産物を巨大なアジア市場へ～

陸海の連携により 九州の農産物を集約し、アジアへ輸出

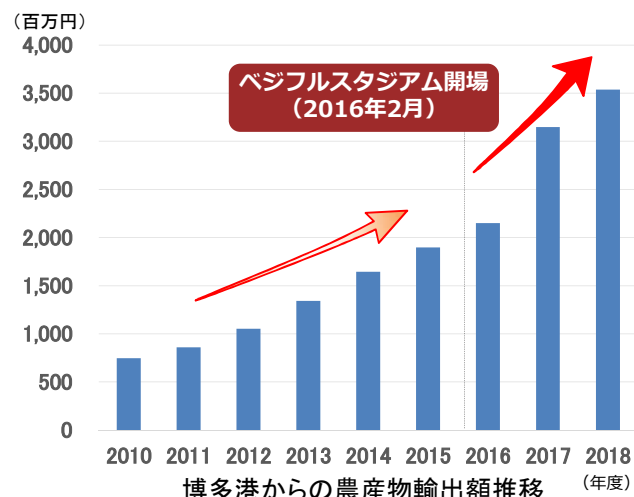
- ✓ 九州最大の青果物流拠点として、新青果市場「ベジフルスタジアム」が博多港アイランドシティ地区に2016年2月に開場。開場以来、農産物の輸出額は順調に増加。
- ✓ 博多港では「アイランドシティコンテナターミナル」において大型コンテナ船の3隻同時着岸が可能となるよう、岸壁の延伸を実施中。
→更なる輸出能力強化へ
- ✓ アイランドシティから福岡都市高速へ接続する「臨港道路アイランドシティ3号線（福岡高速6号線）」を整備中。
→道路ネットワークに直結し利便性向上へ



博多港に着岸する大型コンテナ船



ベジフルスタジアム





唐津港

ふ頭再編により地域活性化へ貢献

～景観・歴史・文化の魅力をアピールし欧米クルーズを誘致～

老朽化した岸壁の改良、貨物の集約を行うとともに周辺緑地の整備を実施



老朽化施設の改良及び貨物の集約



物流および人流機能の強化

景観や歴史・文化の魅力を活かしたポートセールスを展開

- ✓ ふ頭再編を契機に、『唐津城』や『虹の松原』が望め、景観や環境の優れた東港地区にクルーズ船が多数寄港。
- ✓ 欧米クルーズをターゲットに、体験型イベント(茶摘、茶道、人形浄瑠璃鑑賞、唐津焼鑑賞)等を企画し、ポートセールスを実施。
- ✓ 地元商店街では日本酒・茶の振る舞いや折り紙・習字の体験コーナーを特設する等のおもてなし活動を展開。
- ✓ 世界に向けて唐津の魅力を情報発信し、更なる観光客誘致、地域活性化に繋げていく。





雲仙砂防事業

雲仙は無入化施工のさきがけ
～復興事業の歩みと共にシステムが進化！！～

土砂撤去の単純作業から 構造物建設など高度作業へ



1994 土砂掘削に
無人化施工導入



1995 世界初
砂防堰堤を無人化施工



2003 スリット堰堤を
無人化施工



2011 光ファイバー等を駆使し
30km超の遠隔操作実現



✓NASA 科学者
ローレン・スターク教授
無人化施工による除石作業を、ロボットを使った
最新工法として関心を示した。

✓「スペースシャトル以外で、これほど高水準のロボットの
実用例は見たことがない！」



火山災害や大規模土砂災害現場での活躍、
東日本大震災の福島原発対応に貢献

福島原発対応に
無人化施工
技術導入

熊本県

After



Before

八代港国際クルーズ拠点整備事業

大型クルーズ船寄港に対応する
クルーズ船専用岸壁
～大規模地震時に被災者・基幹産業支援でも活躍～

“アジアに開くゲートウェイとしての
「九州中央の大型クルーズ船の受入れ拠点」”

- ✓ 2017年7月、「国際旅客船拠点形成港湾」に指定され、2018年2月、熊本県と民間事業者で「八代港クルーズ拠点形成協定」を締結し、官民連携による国際クルーズ拠点を形成する
- ✓ 県内各地に点在する魅力的な観光地を最大限に活用し、中国を中心としたアジアからの大型クルーズ船寄港効果を県内全域に広げる
- ✓ クルーズ船専用岸壁の整備に併せ、岸壁の一部を耐震強化岸壁機能を付加し、大規模地震発生後の緊急物資荷役等、地域支援に備える

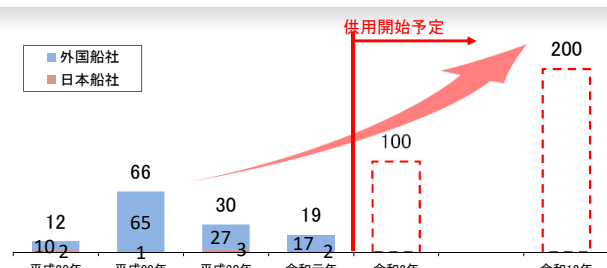
【県内観光地の一例】



【平成28年4月熊本地震時の支援状況】



大型クルーズ船寄港実績及び予定



大分川ダム建設事業

ダムを活かしたインフラツアーと ユニークなフォトパネルを用いた広報

民間インフラツアーによる観光客誘致と フォトパネルによる新たな観光名所の創出

- ✓ 大分川ダムを観光資源として活用、民間と連携したインフラツーリズムを推進、観光客誘致に寄与
平成31年4月より宮崎県からの民間バスツアーの行程に大分川ダム見学を組み込み実施し、計23回806名がダムに訪れました。
- ✓ ダム本体工事の施工状況を見学できる展望所に、来訪者の記念となる写真のために、フォトパネルを設置
- ✓ 令和元年11月に道の駅が完成し、現在も多くの観光客が道の駅とダムに訪れています。

~~~~~ 新たな観光名所 ~~~~~



【ダムカード型フォトパネル】



【道の駅のつはる】



【大分川ダム見学状況】



~~ 県外からの観光客誘致 ~~



宮崎県

かわまち交流館

かわまち交流広場でのイベント



かわまち交流広場

着手前

五ヶ瀬川水系大瀬川

鮎やな

五ヶ瀬川総合水系環境整備事業

地域と連携のもと人々が川と触れ合い、親しめる、
うるおいのある水辺空間が誕生！！

河川敷地占用許可準則の緩和により、

民間事業者が飲食店、オープンカフェ、バーベキュー場の設営等が可能に！

- ✓ 「都市・地域再生等利用区域」の指定を受け、市の占用の下で現地に建築物を常設することができるようになったことから、かわまち交流館を平成29年11月から建設着工し、平成30年3月末に完成。
- ✓ 河川管理者が水辺の空間の賑わい創出に向け支援。

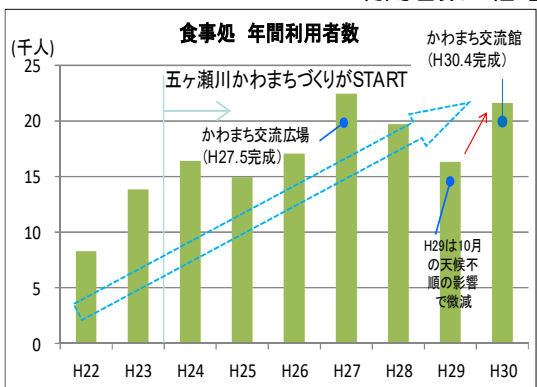
観光客の誘致への期待

鮎やな食事処の
利用者が倍増！

「かわまち事業」を通じて、
河川空間のオープン化が実現し、
多くの人で賑わいを見せている



かわまちバーベキュー広場



かわまち交流館(食事処)利用者数(延岡観光協会調べ)



たくさんの人でにぎわう“鮎やな”と“食事処(かわまち交流館内)”

鹿児島第3地方合同庁舎整備事業

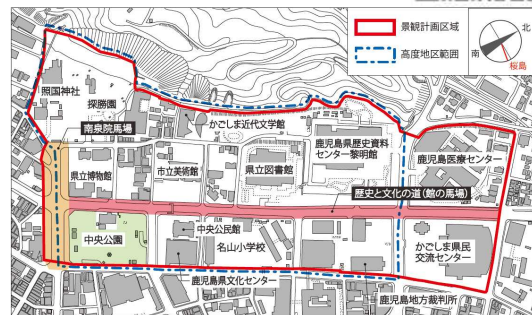


歴史と文化の道地区の景観を守る ～鹿児島県、鹿児島市、国が連携～

鹿児島を代表する歴史と文化の道地区

- ✓ 本敷地は鹿児島（鶴丸）城跡の東に位置し、多くの史跡や文化施設、官庁施設が集積しており、鹿児島の歴史・文化・観光を代表する「歴史と文化の道地区」内にあります。
- ✓ 歴史と文化の道は、電線類が地中化され、歩道の石張り、親水水路、イヌマキの植栽、ガス灯の整備がされ、潤いと安らぎのある街路空間が創出されています。
- ✓ さらに、この地区一帯の景観風致を一体的に維持・保全し、後世に継承するために、高さ20mの高度地区が設定されており、建物の高さがそろった良好な景観が形成されています。

鹿児島第3地方合同庁舎
整備概要はこちら



地域との連携

鹿児島県、鹿児島市、国で連携し、景観形成に配慮し、観光振興やまちづくりに貢献するよう施設整備の内容を検討。

- ① 街並みとの親和性を高め、親しみやすい開放感を演出する「エントランスモール」を整備
- ② 桜島の降灰や強い日差しに配慮し、縦ラインを強調した柱やルーバーを連続的に設けることで、彫深く官庁施設として風格ある外観を形成
- ③ 工事期間中の仮設物（仮囲い等）も景観に配慮
- ④ 鹿児島合同庁舎の既存ポケットパークを、御楼門、御角櫓等の写真撮影や展望などもできるスペースとして改修
- ⑤ 北側来客用駐車場の一部について、閉庁日（休日）に、観光バスの乗り降りスペース、観光客等の駐車場として利用できるように調整



市民の意見を反映したポケットパークの整備

浦添北道路・臨港道路浦添線 (浦添市)



ホテル複合施設イメージ



出典：ゆがるホールディングス提供

大型商業施設（建設状況）



出典：内閣府 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所提供

クルーズ船特需によるインバウンド ～道路・港湾事業の連携による観光振興～

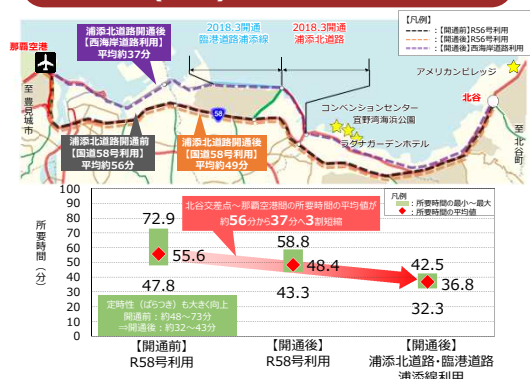
浦添北道路の開通に伴う、那覇港・那覇空港及び中部西海岸地域の観光拠点間の連携強化により、盛況なクルーズ需要によるインバウンドの取り込みへ期待

- ✓ 沖縄の海の玄関口である那覇港が国際クルーズ拠点に選定され、クルーズ需要が急増。浦添北道路及び臨港道路（浦添線）の開通により、那覇港・那覇空港と中部西海岸地域の観光拠点を結ぶ広域観ルートが形成され、定時性、速達性の向上が図られ、観光振興に貢献。
- ✓ 沿線には県内最大級の大型商業施設が2019年6月に開業し、ホテル複合施設が2021年頃に開業予定。
- ✓ 「国際物流拠点産業集積地域」を連携し、物流の効率化にも寄与。
- ✓ 更なる観光振興、物流の効率化に向け、浦添北道路Ⅱ期線にも着手。

那覇港旅客船ターミナルの供用と周辺の開発計画



観光拠点(北谷)～那覇空港の所要時間



クルーズ船の寄港状況

2019年のクルーズ船寄港回数は
全国1位(260回)
2020年はクルーズ船が322回寄港予定



出典：内閣府沖縄総合事務局調べ

観光収入・入込客数の推移



出典：平成30年版観光要覧(沖縄県)

物流の効率化にも貢献

◆国際物流拠点産業集積地域

「国際物流拠点産業集積地域」を連携し、物流の効率化にも寄与。



大型船舶の集荷状況



物流企業のコメント

浦添北道路・臨港道路浦添線が開通してからは、当該道路を利用し宜野湾方面に向かうことができるようになったため、かなり利便性になり、15～20分程度の時間短縮につながっている。大きな時間短縮が図られているため、搬送の回転率が向上し、非常に業務効率化につながっている。



出典：南部国道事務所による企業ヒアリング調査結果(H30.9～10実施)